

未来

今をしっかりと生きよう
未来への扉を開くために





FD
The Fine Dream 福岡大学卒業通志

FDは、「このキャンパスで在学生の皆さん一人一人が、美しく素敵な夢(Fine Dream)を育んでくれるように」との願いを込めてるとともに、あわせてFUKUOKA DAIGAKUの頭文字を構成し、愛称として名付けられています。

CONTENTS

「未来」今をしっかりと生きよう 未来への扉を開くために

創立75周年記念事業特集

あの時、この場所で。	8
学生チャレンジプロジェクト	10
FUKUDIARY 国際会議で、アジア初の 最優秀ポスターセッション論文賞を受賞 イベントスケジュール／二十四節氣	14
情熱 STAND UP！ ●柔道部(女子) ●文芸部 ●演劇部 ●重量挙げ	16
特別講座 知っていますか？「薬物乱用の怖さ」	18
私のとおきの一冊／絆エッセイ 来てみて話してこころの整理 ヒューマンディベロップメントセンター	19
先生の研究 「スポーツ選手の栄養学的コンディショニングに関する研究」	20
教育クローズアップ 「新しい教育研究施設17号館・18号館」	22
Fの鼓動	24
就活日記～My チャレンジ	25
卒業生に息づく福岡大学 DNA	26
創立75周年記念事業募金 寄付者ご芳名一覧	28
ななくま通信	32
地域の福大サポーター	36

FD
NO.28

第28号(通巻198号)平成22年1月15日発行
編集・発行:福岡大学広報委員会
〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19-1
TEL:092-871-6631(代) E-mail:/fupr@adm.fukuoka-u.ac.jp
http://www.fukuoka-u.ac.jp

「FD」に対するご感想をお寄せください。

春夏秋冬[編集部より]

霜柱が立ち、氷が張り、雪が積もる。そんな冬の光景を目にする機会があまりなくなった気がする。昭和38(1963)年の写真には、七隈キャンバス周辺のため池が凍り、自然がもたらした天然のリンクで軽快に滑る学生の姿が収められている。今では想像しがたく、環境の変化に驚かされる。

現代社会の変化はもっと速い。ともすれば洪水のように押し寄せる情報の波にのまれ、自分自身を見失うことでも少なくない。そんな中、自由な発想のもとで企画した独自のプロジェクトに取り組む学生チャレンジプロジェクトの面々がいる。チャレンジの名のとおり、数々の壁に立ち阻まれ、失敗を重ねながらも、ひたむきに挑戦を続いている。代表者の一人は、「私たちの思いを後輩たちに伝え、受け継いでもらえば、プロジェクトは成功したといえます」と語ってくれた。

「未来」は誰かが与えてくれるものではなく、「未来」は自分たちの手で形づくっていくもの。そんな意気込みを感じた。

創立75周年を終えて、「未来」に向かって進む福岡大学。形づくっていくのは一人一人の思いなのかもしれない。

建学の精神 思想堅実・穩健中正 質実剛健・積極進取

【教育研究の理念】

「人材教育」と「人間教育」の共存
「学部教育」と「総合教育」の共存
「地域性」と「国際性」の共存



福岡大学の 三つのポリシー

アドミッションポリシー

本学の「建学の精神」を理解した、次のような人たちを広く国内外から受け入れます。

- 1.考え方がしっかりとおり独断や偏見にとらわれない生き方を求める人
- 2.温厚で包容力がありバランス感覚に優れた能力を身につけたい人
- 3.誠実で責任感が強く何事にも屈しない人生をめざす人
- 4.新しいこと、困難なことに自ら進んで取り組んで行こうとする人

カリキュラムポリシー

本学の「教育研究の理念」に基づき、すべての学生に提供する「共通教育科目」と、各学部学科に設置する「専門教育科目」の二つを大きな柱とし、それぞれの学部学科の教育目標にあわせたカリキュラムを編成します。また、正課外教育においても、充実した各種教育プログラムを展開し、全教職員で本学学生の人間的成长を支援し、全人教育を実現します。

- 1.全学に提供する共通教育科目をとおして、専門性にとらわれない幅広い視野と豊かな人間性を持つ人材を育成
- 2.各学部学科が設置する専門教育科目をとおして、専門的な知識や技能を高め、社会の進歩や変革に応え得る深い学識を有する人材を育成
- 3.様々な教育プログラムをとおして、国際性と地域性を兼ね備えた21世紀に通用する人材を育成

ディプロマポリシー

本学の教育課程においては、厳格な成績評価を行い、所定の単位を修め、次の能力を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与します。

- 1.修得した知識・技能・態度により、自らが発見した新たな課題を解決する力
- 2.職業生活、社会生活に必要な知的活動を支えるコミュニケーション能力や論理的思考力
- 3.自律しながらも他者と協調して行動でき、社会の一員として社会の発展に寄与できる力

未来

今をしっかりと生きる。
真っすぐに夢を追う。
明日の可能性になる。
今日の積み重ねが
未来につながる扉を開いていく。



表紙

左から
森永 隆志さん(工学部機械工学科3年次生)
米満 希和さん(医学部看護学科3年次生)
鳴海 由莉さん(法学部経営法学科2年次生)

3人は福岡大学創立75周年記念事業である「学生チャレンジプロジェクト」でそれぞれのテーマを掲げ、奮闘中。本号P10~13でその活動内容を紹介しています。

75th Anniversary Events

創立75周年記念事業特集

七限宣言

「福岡大学創立75周年記念協定大学長によるシンポジウムに参加したわれわれは、福岡大学が国際交流の基本とするグローバル連携の推進を正に適切なものと思料し、アジアのみならず世界各国から留学生の拡大をめざし、奨学制度の充実を図り、各のリーダーとなりうる人材育成を通じて、世界の平和と発展に寄与しようとするその積極的姿勢を高く評価するものである。」

したがって、われわれは、福岡大学がアジアに位置する大学の使命としてそのような活動を実施し、継続するに際し、共に取り組みを全力で行うことを約し、ここに宣言する。」

2009年10月23日 福岡に於いて

Nanakuma Declaration

We as the participants of the 75th Anniversary Commemorative Sister University Presidents Symposium recognize Fukuoka University's promotion of global ties with international exchange as a base to be appropriate. We also evaluate highly Fukuoka University's positive stance towards future contributions to development and peace; namely, through the building of leaders in each country; establishing a scholarship system; and increasing exchange students not only in Asia but worldwide.

We the participants of this commemorative symposium through this Nanakuma Declaration promise to do our best to collaborate with the mission of Fukuoka University, whose base is in Asia, to carry out and continue these activities.

October 23, 2009 Fukuoka

Washburn University of Topeka
Jerry Farley

University of Ulsan
Doh-Yeon Kim

Catholic University of Louvain
Heinz Bouillon

Fu Jen Catholic University
Chen-Nan Lai

Tribhuvan University
Madhab Prasad Sharma

University of Newcastle upon Tyne
Chris Brink

University of Leeds
Richard Williams

East China Normal University
Huiming Zhuang

China University of Political Science of Law
Yajun Shi

Yangzhou University
Yao Chen

Dong-eui University
Chang-Seok Kang

De La Salle University
Arnulfo P. Azcarraga

University of Bath
Magdalen Ward Goodbody

Keimyung University
Park Dong Yeo

Pamukkale University
Fazil Needet Ardiç

Yantai University
Shaokun Fang

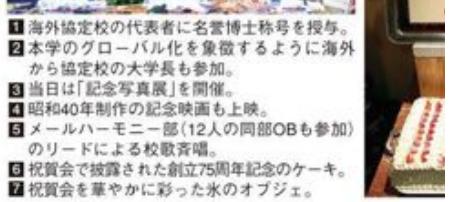
Korea University
Sung Shick Kim

University Lumière Lyon II
Olivier Christin

Guangzhou University
Zuoyong Yi

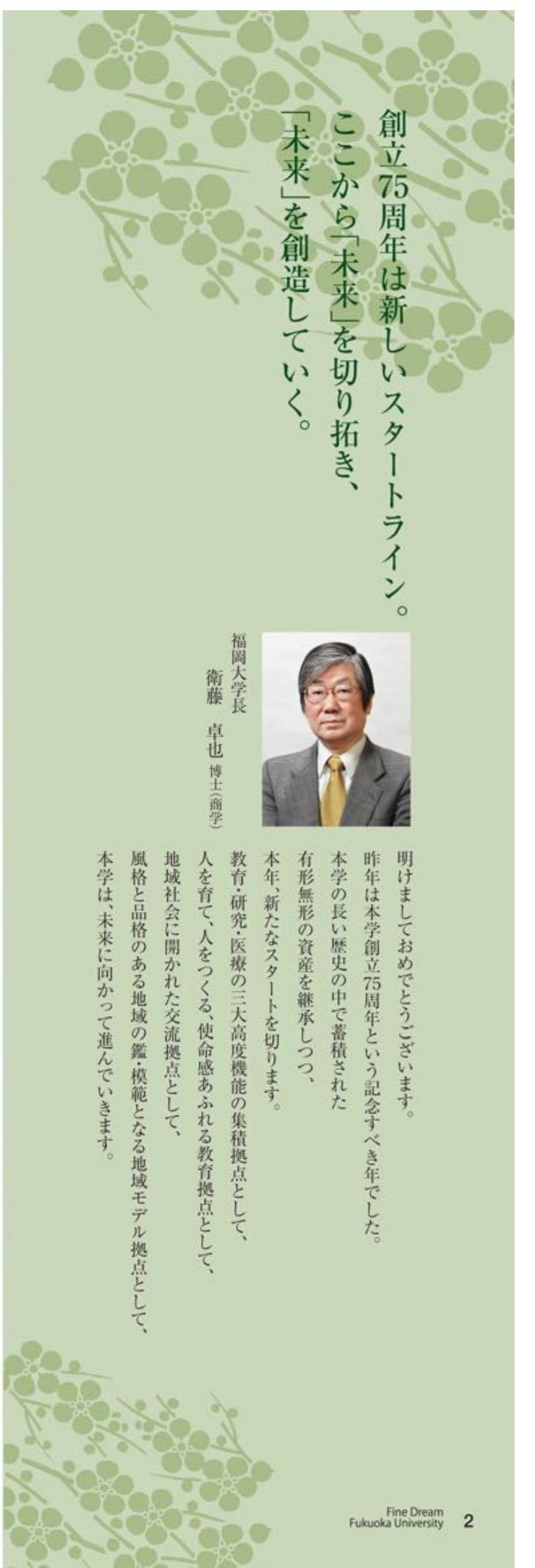
Fukuoka University
Takuya Eto

記念式典で披露された
「七限宣言」。



① 海外協定校の代表者に名誉博士称号を授与。
② 本学のグローバル化を象徴するように海外から協定校の大学長も参加。
③ 当日は「記念写真展」を開催。
④ 昭和40年制作の記念映画も上映。
⑤ メールハーモニー部(12人の同部OBも参加)のリードによる校歌齊唱。
⑥ 祝賀会で披露された創立75周年記念のケーキ。
⑦ 祝賀会で華やかに彩った氷のオブジェ。

創立75周年記念式典・祝賀会



創立75周年は新しいスタートライン。

ここから「未来」を切り拓き、
「未来」を創造していく。



明けましておめでとうございます。

昨年は本学創立75周年という記念すべき年でした。

本学の長い歴史の中で蓄積された
有形無形の資産を継承しつつ、
本年、新たなスタートを切りります。

教育・研究・医療の三大高度機能の集積拠点として、
人を育て、人をつくる、使命感あふれる教育拠点として、
地域社会に開かれた交流拠点として、
風格と品格のある地域の鑑・模範となる地域モデル拠点として、

本学は、未来に向かって進んでいきます。

福岡大学の記念すべき日。昨年10月24日(土)、ホテルニューオータニ博多で「創立75周年記念式典・祝賀会」を挙行しました。会場は教育・行政・企業の関係者、地域の方々、本学関係者など約800人で満員の盛況。式典は福岡大学交響楽団による式典序曲の演奏により厳かに始まりました。馬本副学長の開式の辞、衛藤学長の式辞、末永理事長のあいさつと続き、藤原副学長よりスクリーンを使って、記念事業報告が行われました。次いで「協定大学長によるシンボジウム」において採択された「七限宣言」をルーヴィアンカトリック大学のハインツ・ブイオン氏が発表。特別功労者表彰(第二代理事長故・溝口梅太郎氏、第四代理事長故・末永敏毅氏、名誉博士称号授与に続き、川端文部科学大臣(代読)・麻生福岡県知事(代読)らの来賓祝辞と、滞りなく進み校歌齊唱の後、大和副学長の閉会の辞で式典は終了しました。

この後、会場を移して祝賀会が催され、瓦林副学長のあいさつや來賓祝辞に続き、明石副理事長の音頭で万歳三唱。祝賀会は華やかに終りました。なお、当日は同ホテルで河部副理事長の音頭で万歳三唱。祝賀会は華やかに終りました。なほ、当日は同ホテルで「福岡大学創立75周年記念写真展」も開催。また、昭和40年制作の記念映画「若き日の今日をばん」を上映しました。



本学サッカー部OBの現

昨年9月23日(水・祝)、本学の人工芝サッカー場(FIFA公認)で「ふれあいスポーツフェスタ2009(フットサルゲーム)」を開催しました。2回目となる今回は、対象者を城南区から福岡市内在住者に広げて参加者を募集し、45チーム416人が参加。昨年8月に総理大臣杯全日本大学サッカートーナメントで初優勝したサッカー部の皆さんも加わりました。

本学サッカー部OBの現

①子どもたちと一緒に一つのボールを追いかけてプレー。アトラクションでは、福岡市消防音楽隊の演奏とカラーガード隊の華麗な演技、本学応援指導部チアリーダーによるダイナミックな演技など。
②Jリーガーにサインをもらったりしそうな子どもたち。将来、多くの名サッカー選手が生まれることを祈っています。
③ヨーヨー釣りやスピードチャレンジなど、遊具コーナーも設けられた。

ふれあいスポーツフェスタ 2009



①慣れない手つきでのこぎりを使う小学生。とても真剓で好奇心にあふれた表情。
②遊び方を教わる子どもたち。世代交流の良い機会に。
③色を塗って、かたちを作る貴重な体験。

昨年9月23日(水・祝)、本学キャンパス内で「自然体験フェスタin福大」を開催しました。10号館前の広場と60周年記念館2階に「自然体験コーナー」と「自然工芸コーナー」のテントの「自然体験情報コーナー」では、福岡県内の自然体験施設の紹介とその施設で体験できる遊びや環境などのパネル展示もありました。同じ日に「ふれあいスポーツフェスタ」が開催されたこともあり、家族連れなど約100人の参加者でぎわいました。

自然体験フェスタin福大 2009



①10代から70代の方まで幅広い世代の参加者。スポーツ科学部の学生もボランティアで加わった。
②井上陽水の「少年時代」の音楽に合わせ、リズミカルに息をはずませる参加者たち。

昨年10月4日(日)、第二記念会堂と陸上競技場で「福大二コニコ健康づくり講座2009(体力アップでメタボ解消)」を開催しました。これはスポーツ科学部運動生理学研究室(代表:田中宏暁教授)を中心に企画されたもので、メタボリックシンドロームについての分かりやすい講義と、踏み台昇降運動ウォーキング、ジョギングなどの実践講座を実施。当日は晴天で気温も高く、50~60代を中心とした約160人の参加者が心地よい汗を流しました。陸上競技場では、本学のスタッフから正しい歩き方、軽い走り方などのコーチを受け、芝生とトラックで実践し、その効果を体で感じました。2回目を迎えた今回は参加者も大幅に増え、地域の皆さんの健康づくりへの関心の高さをうかがわせるものとなりました。

福大二コニコ健康づくり講座 2009



昨年10月3日(土)、本学831教室でノーベル賞受賞者を囲むフォーラム「21世紀の創造」を開催。在学生や高校生、一般市民など約800人が参加しました。衛藤学長が「若者に未来への希望と行動指針を与えていただきたい」といっつしめ、「科学する心、創造する力」を拓く若者へ」というテーマで利根川進氏(米マサチューセッツ工科大学教授、1987年ノーベル生理学・医学賞受賞)と益川敏英氏(京都産業大学教授、2008年ノーベル物理学賞受賞)の基調講演がありました。利根川氏は「好きなこと、あこがれを持つことが成長につながる「創造する力」に触れ「自然の法則を解明するためには今何をしなければいけないかを知ること」成功しました。

利根川氏はテーマに掲げる「好きなこと、あこがれを持つことが成長につながる「創造する力」に触れ「自然の法則を解明するためには今何をしなければいけないかを知ること」成功しました。その後、両氏と瓦林達比古副学長をハネリストに、新井紀子氏(国立情報研究所教授)をコーディネーターとして、活発なパネルディスカッションと質疑応答が行われました。

ノーベル賞受賞者を囲むフォーラム「21世紀の創造」

サクセスフル・エイジング2009 「21世紀を豊かに生きる!」



①「日本はもっと世界に目を向けるべき。確かなビジョンを持って交流すれば、世界から孤立することはない」「人は次第、心を鍛えることが豊かな人生につながる」と児玉氏。環境破壊への危惧、うつ病の時代への対処法など講演内容は多岐にわたった。



昨年10月31日(土)、天神クリスタルビルで、エクスデンションセンター特別公開講座の最終回として、俳優・作家の児玉清氏による講演を行いました。児玉氏は、この1月放送開始のNHK大河ドラマ「龍馬伝」で龍馬の父親役として出演。その撮影中の体験談を皮切りに自身の人生や出来事を振り返りながら、豊かに生きることの大切さ、心を鍛えることの必要性などを語り口ながら、読書家としても知られる児玉氏の膨大な知識に打ちされた言葉の一つ一つは滋味にあふれており、参加者を深くうなづかせるものでした。

ユーモアとウイットに富んだ語り口ながら、読書家としても知られる児玉氏の膨大な知識に打ちされた言葉の一つ一つは滋味にあふれており、参加者を深くうなづかせるものでした。

2009

本学東側を通り
るバス路線は昔と同じ
曲線を描く。

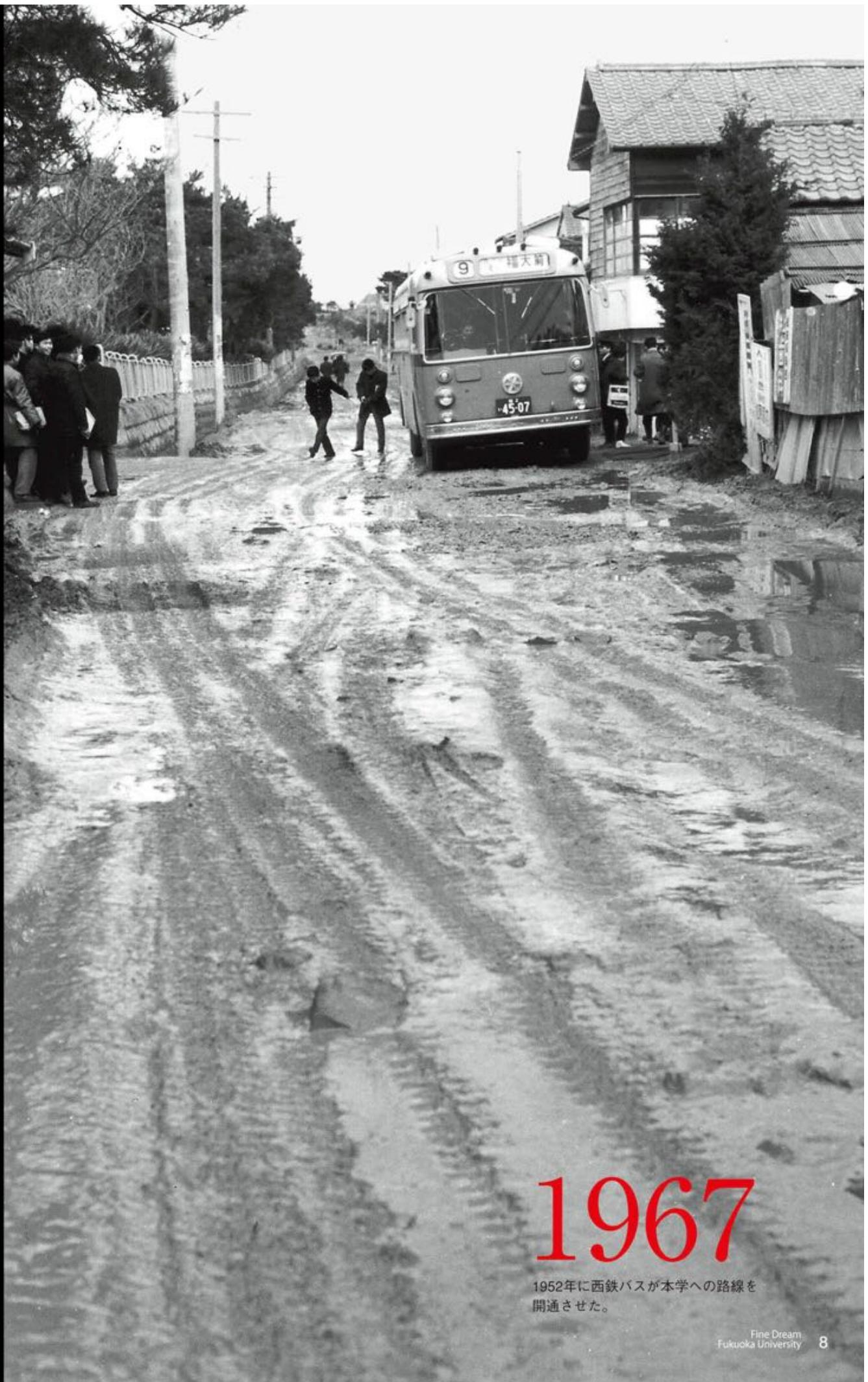


この場所で。「福大前バス停」

あの時、

あの道をたどり、この停留所でとまり、
そして若者たちは福岡大学に集つた。
あの道をたどり、この停留所でとまり、
人生のきらめくような数年間。」

バスが運んでいたのは夢、未来への思い。
今日も若者たちは福岡大学に集う。



1967

1952年に西鉄バスが本学への路線を
開通させた。

2009

学生チャレンジプロジェクト

「学生チャレンジプロジェクト」は、本学創立75周年(2009年)を記念し、学生の皆さんのが自主的で自由な発想から企画した独自のプロジェクトを福岡大学が資金面等で支援する制度です。

第5回目となる2009年度は昨年5月に3件が採択され、プロジェクトがスタートしました。

その活動が最終段階を迎えた昨年の11月、進捗状況について各プロジェクトの皆さんにインタビューしました。

知つて伝えて繋げよう —私たちの博多—

【代表】法学部経営法学科2年次生

鳴海由莉さん(他2人)



伝統工芸の技に触れ、さらに「博多」への関心が深くなったメンバーたち。多くの人に博多文化を知ってもらえるよう、意見を出し合いながら、情報誌の制作に取り組んでいる。

「福大生にとって身近な存在である“博多”を博多織や博多人形を通して、より多くの学生に発信し、歴史や現況などを知つてもらう」という目的で取り組むプロジェクト。博多山笠の制作現場の見学や「博多町家ふるさと館」への見学、博多織の伝統の技を学ぶ専門学校での体験入学や博多織の老舗である西村織物への見学などを、昨年6月から11月にかけて実施しました。当初は取材のコネクションがつかめず試行錯誤を繰り返し、またメンバー間での意見の食い違いなどもありました。しかし、苦労の末、取材は無事終了。これらの成果を情報誌としてまとめ、学生の皆さんをはじめ、市役所にも置いていただき市民の方々にも配布する予定です。自ら触れた博多文化、その体験と感動をよりリアルに伝えることを目的に、平成21年度中の発刊を目指しています。その後は、情報誌の発刊だけとも考えています。

「福大生にとって身近な存在である“博多”を博多織や博多人形を通して、より多くの学生に発信し、歴史や現況などを知つてもらう」という目的で取り組むプロジェクト。博多山笠の制作現場の見学や「博多町家ふるさと館」への見学、博多織の伝統の技を学ぶ専門学校での体験入学や博多織の老舗である西村織物への見学などを、昨年6月から11月にかけて実施しました。当初は取材のコネクションがつかめず試行錯誤を繰り返し、またメンバー間での意見の食い違いなどもありました。しかし、苦労の末、取材は無事終了。これらの成果を情報誌としてまとめ、学生の皆さんをはじめ、市役所にも置いていただき市民の方々にも配布する予定です。自ら触れた博多文化、その体験と感動をよりリアルに伝えることを目的に、平成21年度中の発刊を目指しています。その後は、情報誌の発刊だけとも考えています。

大学に壁画を描こう

【代表】工学部機械工学科3年次生

森永隆志さん(他約100人)



壁画のテーマは「Next」。制作中も意見をぶつけ合いながら、お互いに納得いくいく作品を目指した。「オアシス」典の壁画に広がる世界は、美術部員たちの妥協なき未来への挑戦をうかがわせる。

表現したものになりました。また、部員たちの創作意欲を刺激し、合同制作という経験を通して部員同士の絆が深まったことも大きな収穫でした。

美術部を中心にメンバーを構成し、みんなの力を結集したプロジェクト。2009年は美術部創部50周年。この節目の年に、部として福岡大学に「絵」を通して貢献することを目指しました。壁画の創作場所は、学生や職員の皆さんが多く利用する才アシス。昨年6月に美術部内で壁画デザインの考案を行いました。部員の個性がぶつかり合い、一つのコンセプトにまとめてあげるのに糸余曲折がありました。また、夏季休業に入った8月4日からオアシス内での壁画制作を開始。当初16人で始めた制作は、最終的には100人ほどの参加者に膨らみました。壁画の洗浄、バテによる補修、下塗り、プロジェクト一投写による下絵書きの後、着色作業に取り組み、9月20日に作業が完了しました。壁画のテーマは「Next」。本学創立75周年、美術部創部50周年という節目に、過去から未来へ向けた新たな飛躍を

あなたのそばに私がいる —独りぼっち 高齢者ゼロ作戦—

【代表】医学部看護学科3年次生

米満希和さん(他10人)



まずは高齢者の話し相手になり、気持ちを共有することを心掛けたメンバーの皆さん。

病気の予防法や筋力トレーニング法など、日常での工夫も講義で学んだことを生かして伝えている。

実感しました。昨年8月には合宿を実施。高齢者訪問に関する注意点を学ぶとともに、モデルケースを用いたコミュニケーション技法の練習を行いました。そして9月から高齢者訪問活動を行い、11・12月には主に看護学科の学生を対象に活動報告会も開催しました。

先進諸国で高齢化が急速に進み、日本も超高齢社会に突入しようとしています。また独り暮らしの高齢者が急増しており、孤独死する高齢者も相次いでいます。このような状況に、「将来医療分野に従事する者として地域のコミュニティレベルで、その改善を図っていくことはできないか」という思いで立ち上げたプロジェクトです。具体的には、福岡大学周辺の城南区七隈地区を中心に、独り暮らしの高齢者宅を構成員が訪問。人ととのつながりを求めて、高齢者の孤独感の軽減を図る計画です。役所への活動許可願いや、看護実習で忙しいメンバー間のスケジュール調整など、計画実行までは大変でしたが、昨年7月に高齢者サロン(梅の会)に参加。ボランティア体験を通して、高齢者がどのような理由で地域に参加しているのか、また地域でどのような取り組みがなされているのかを

2009

学生チャレンジプロジェクト座談会

各プロジェクトの代表である3人の皆さんに、活動に明け暮れた日々や、それぞれの学科での学び、未来への抱負などを語り合ってもらいました。

思いを「未来」につなげたい

**思った以上に大変だった
チャレンジプロジェクト**

森永 私たちのプロジェクトは壁画が完成して、とりあえず終了したのですが、2人のプロジェクトはまだ継続中ですよ。

鳴海 私は情報誌発行の準備でゴタゴタしています。しかし一番大変だったのは取材の準備。右も左も分からなくて試行錯誤の連続でした。「博多」と名の付く店舗500店くらいに「なぜ博多と名付けたのですか」とアンケートを依頼して。回答があつたのはわずか10店ほどでした。

米満 私たちも大変だったのは活動の準備段階。行政への許可申請、書類提出や交

渉など、とても煩雑で。何とか実社会って厳しい、と感じました。

森永 私は、美術部の幹事として創部50周年に何か残るものを作ろうと提案したのですが、当初、他の部員は「え、何で?」みたいな反応でした。プロジェクト応募の前に美術部内部で懸命にプレゼンテーションをしました。おかげで「説得力」が身に付いたかもしれません。

鳴海 私は北海道での夏期セミナーをきっかけに、自分が住む地域の特性を調べたいと思うようになりました。動き出すとラクかな、と思っていたけど甘かったです。たった3人のメンバーなのに意見が食い違うこともあります。時々ビリビリした雲が現気になつたりしました。

森永 美術部はメンバーそれぞれ創作意欲が強い。こんなものを創りたいと個性がぶつかり合う。毎日連夜ケンケンゴウゴウ。意見調整で、毎日眠れないぐらい苦しんだこともあります。おかげで「調整力」も身に付きました。

米満 それはすぐあります。活動を通して民生委員など地域で活躍しておられる方々との信頼関係を作りました。私たちの場合は正課授業の実習で感じた思いがプロジェクトへの挑戦につながりました。逆にプロジェクトの活動を通じた実体験が看護実習にも役立っています。課外活動が正課にも良い影響を与えていると実感しています。

鳴海 私も取材を通して、企業などの組織に関する興味がわきました。博多の伝統工芸も「組織」も理念や人としての思いが大切で正課でも感じています。経営法学科での学びが現実のものとして感じられるようになつてきました。

森永 私は機械工学科で制御工学、例えばセグウェイの構造を学んだりしていました。

米満 私は合気道愛好会に所属しています。それと保健師になるための専門学校にも通っています。

鳴海 寝る時間がないんじゃないですか? 2人はサークル活動をしていますか?

米満 私は合気道愛好会に所属しています。それと保健師になるための専門学校にも通っています。

鳴海 私はFSP(福大生ステップアッププログラム)の「キャリア形成支援講座」

コミュニケーション能力の向上にもつながる「キャリア形成支援講座」。



鳴海さんの活動にきっかけを与えた北海道での夏期セミナー。

森永 私たちのプロジェクトは壁画が完成して、とりあえず終了したのですが、2人のプロジェクトはまだ継続中ですよ。やはり大変でしょう?

鳴海 今は情報誌発行の準備でゴタゴタしています。しかし一番大変だったのは取材の準備。右も左も分からなくて試行錯誤の連続でした。「博多」と名の付く店舗500店くらいに「なぜ博多と名付けたのですか」とアンケートを依頼して。回答があつたのはわずか10店ほどでした。

米満 私たちも大変だったのは活動の準備段階。行政への許可申請、書類提出や交

渉など、とても煩雑で。何とか実社会って厳しい、と感じました。

森永 私は、美術部の幹事として創部50周年に何か残るものを作ろうと提案したのですが、当初、他の部員は「え、何で?」みたいな反応でした。プロジェクト応募の前に美術部内部で懸命にプレゼンテーションをしました。おかげで「説得力」が身に付いたかもしれません。

鳴海 私は北海道での夏期セミナーをきっかけに、自分が住む地域の特性を調べたいと思うようになりました。動き出すとラクかな、と思っていたけど甘かったです。たった3人のメンバーなのに意見が食い違うこともあります。時々ビリビリした雲が現気になつたりしました。

森永 美術部はメンバーそれぞれ創作意欲が強い。こんなものを創りたいと個性がぶつかり合う。毎日連夜ケンケンゴウゴウ。意見調整で、毎日眠れないぐらい苦しんだこともあります。おかげで「調整力」も身に付きました。

米満 それはすぐあります。活動を通して民生委員など地域で活躍しておられる方々との信頼関係を作りました。私たちの場合は正課授業の実習で感じた思いがプロジェクトへの挑戦につながりました。逆にプロジェクトの活動を通じた実体験が看護実習にも役立っています。課外活動が正課にも良い影響を与えていると実感しています。

鳴海 私も取材を通して、企業などの組織に関する興味がわきました。博多の伝統工芸も「組織」も理念や人としての思いが大切で正課でも感じています。経営法学科での学びが現実のものとして感じられるようになつてきました。

森永 私は機械工学科で制御工学、例えばセグウェイの構造を学んだりしていました。

米満 私は合気道愛好会に所属しています。それと保健師になるための専門学校にも通っています。

鳴海 寝る時間がないんじゃないですか? 2人はサークル活動をしていますか?

米満 私は合気道愛好会に所属しています。それと保健師になるための専門学校にも通っています。

鳴海 私はFSP(福大生ステップアッププログラム)の「キャリア形成支援講座」

コミュニケーション能力の向上にもつながる「キャリア形成支援講座」。



鳴海さんの活動にきっかけを与えた北海道での夏期セミナー。

森永 私たちのプロジェクトは壁画が完成して、とりあえず終了したのですが、2人のプロジェクトはまだ継続中ですよ。やはり大変でしょう?

鳴海 今は情報誌発行の準備でゴタゴタしています。しかし一番大変だったのは取材の準備。右も左も分からなくて試行錯誤の連続でした。「博多」と名の付く店舗500店くらいに「なぜ博多と名付けたのですか」とアンケートを依頼して。回答があつたのはわずか10店ほどでした。

米満 私たちも大変だったのは活動の準備段階。行政への許可申請、書類提出や交

渉など、とても煩雑で。何とか実社会って厳しい、と感じました。

森永 私は、美術部の幹事として創部50周年に何か残るものを作ろうと提案したのですが、当初、他の部員は「え、何で?」みたいな反応でした。プロジェクト応募の前に美術部内部で懸命にプレゼンテーションをしました。おかげで「説得力」が身に付いたかもしれません。

鳴海 私は北海道での夏期セミナーをきっかけに、自分が住む地域の特性を調べたいと思うようになりました。動き出すとラクかな、と思っていたけど甘かったです。たった3人のメンバーなのに意見が食い違うこともあります。時々ビリビリした雲が現気になつたりしました。

森永 美術部はメンバーそれぞれ創作意欲が強い。こんなものを創りたいと個性がぶつかり合う。毎日連夜ケンケンゴウゴウ。意見調整で、毎日眠れないぐらい苦しんだこともあります。おかげで「調整力」も身に付きました。

米満 それはすぐあります。活動を通して民生委員など地域で活躍しておられる方々との信頼関係を作りました。私たちの場合は正課授業の実習で感じた思いがプロジェクトへの挑戦につながりました。逆にプロジェクトの活動を通じた実体験が看護実習にも役立っています。課外活動が正課にも良い影響を与えていると実感しています。

鳴海 私も取材を通して、企業などの組織に関する興味がわきました。博多の伝統工芸も「組織」も理念や人としての思いが大切で正課でも感じています。経営法学科での学びが現実のものとして感じられるようになつてきました。

森永 私は機械工学科で制御工学、例えばセグウェイの構造を学んだりしていました。

米満 私は合気道愛好会に所属しています。それと保健師になるための専門学校にも通っています。

鳴海 寝る時間がないんじゃないですか? 2人はサークル活動をしていますか?

米満 私は合気道愛好会に所属しています。それと保健師になるための専門学校にも通っています。

鳴海 私はFSP(福大生ステップアッププログラム)の「キャリア形成支援講座」

コミュニケーション能力の向上にもつながる「キャリア形成支援講座」。



鳴海さんの活動にきっかけを与えた北海道での夏期セミナー。

森永 私たちのプロジェクトは壁画が完成して、とりあえず終了したのですが、2人のプロジェクトはまだ継続中ですよ。やはり大変でしょう?

鳴海 今は情報誌発行の準備でゴタゴタしています。しかし一番大変だったのは取材の準備。右も左も分からなくて試行錯誤の連続でした。「博多」と名の付く店舗500店くらいに「なぜ博多と名付けたのですか」とアンケートを依頼して。回答があつたのはわずか10店ほどでした。

米満 私たちも大変だったのは活動の準備段階。行政への許可申請、書類提出や交

渉など、とても煩雑で。何とか実社会って厳しい、と感じました。

森永 私は、美術部の幹事として創部50周年に何か残るものを作ろうと提案したのですが、当初、他の部員は「え、何で?」みたいな反応でした。プロジェクト応募の前に美術部内部で懸命にプレゼンテーションをしました。おかげで「説得力」が身に付いたかもしれません。

鳴海 私は北海道での夏期セミナーをきっかけに、自分が住む地域の特性を調べたいと思うようになりました。動き出すとラクかな、と思っていたけど甘かったです。たった3人のメンバーなのに意見が食い違うこともあります。時々ビリビリした雲が現気になつたりしました。

森永 美術部はメンバーそれぞれ創作意欲が強い。こんなものを創りたいと個性がぶつかり合う。毎日連夜ケンケンゴウゴウ。意見調整で、毎日眠れないぐらい苦しんだこともあります。おかげで「調整力」も身に付きました。

米満 それはすぐあります。活動を通して民生委員など地域で活躍しておられる方々との信頼関係を作りました。私たちの場合は正課授業の実習で感じた思いがプロジェクトへの挑戦につながりました。逆にプロジェクトの活動を通じた実体験が看護実習にも役立っています。課外活動が正課にも良い影響を与えていると実感しています。

鳴海 私も取材を通して、企業などの組織に関する興味がわきました。博多の伝統工芸も「組織」も理念や人としての思いが大切で正課でも感じています。経営法学科での学びが現実のものとして感じられるようになつてきました。

森永 私は機械工学科で制御工学、例えばセグウェイの構造を学んだりしていました。

米満 私は合気道愛好会に所属しています。それと保健師になるための専門学校にも通っています。

鳴海 寝る時間がないんじゃないですか? 2人はサークル活動をしていますか?

米満 私は合気道愛好会に所属しています。それと保健師になるための専門学校にも通っています。

鳴海 私はFSP(福大生ステップアッププログラム)の「キャリア形成支援講座」

コミュニケーション能力の向上にもつながる「キャリア形成支援講座」。



鳴海さんの活動にきっかけを与えた北海道での夏期セミナー。

森永 私たちのプロジェクトは壁画が完成して、とりあえず終了したのですが、2人のプロジェクトはまだ継続中ですよ。やはり大変でしょう?

鳴海 今は情報誌発行の準備でゴタゴタしています。しかし一番大変だったのは取材の準備。右も左も分からなくて試行錯誤の連続でした。「博多」と名の付く店舗500店くらいに「なぜ博多と名付けたのですか」とアンケートを依頼して。回答があつたのはわずか10店ほどでした。

米満 私たちも大変だったのは活動の準備段階。行政への許可申請、書類提出や交

渉など、とても煩雑で。何とか実社会って厳しい、と感じました。

森永 私は、美術部の幹事として創部50周年に何か残るものを作ろうと提案したのですが、当初、他の部員は「え、何で?」みたいな反応でした。プロジェクト応募の前に美術部内部で懸命にプレゼンテーションをしました。おかげで「説得力」が身に付いたかもしれません。

鳴海 私は北海道での夏期セミナーをきっかけに、自分が住む地域の特性を調べたいと思うようになりました。動き出すとラクかな、と思っていたけど甘かったです。たった3人のメンバーなのに意見が食い違うこともあります。時々ビリビリした雲が現気になつたりしました。

森永 美術部はメンバーそれぞれ創作意欲が強い。こんなものを創りたいと個性がぶつかり合う。毎日連夜ケンケンゴウゴウ。意見調整で、毎日眠れないぐらい苦しんだこともあります。おかげで「調整力」も身に付きました。

米満 それはすぐあります。活動を通して民生委員など地域で活躍しておられる方々との信頼関係を作りました。私たちの場合は正課授業の実習で感じた思いがプロジェクトへの挑戦につながりました。逆にプロジェクトの活動を通じた実体験が看護実習にも役立っています。課外活動が正課にも良い影響を与えていると実感しています。

鳴海 私も取材を通して、企業などの組織に関する興味がわきました。博多の伝統工芸も「組織」も理念や人としての思いが大切で正課でも感じています。経営法学科での学びが現実のものとして感じられるようになつてきました。

森永 私は機械工学科で制御工学、例えばセグウェイの構造を学んだりしていました。

米満 私は合気道愛好会に所属しています。それと保健師になるための専門学校にも通っています。

鳴海 寝る時間がないんじゃないですか? 2人はサークル活動をしていますか?

米満 私は合気道愛好会に所属しています。それと保健師になるための専門学校にも通っています。

鳴海 私はFSP(福大生ステップアッププログラム)の「キャリア形成支援講座」

コミュニケーション能力の向上にもつながる「キャリア形成支援講座」。



鳴海さんの活動にきっかけを与えた北海道での夏期セミナー。

森永 私たちのプロジェクトは壁画が完成して、とりあえず終了したのですが、2人のプロジェクトはまだ継続中ですよ。やはり大変でしょう?

鳴海 今は情報誌発行の準備でゴタゴタしています。しかし一番大変だったのは取材の準備。右も左も分からなくて試行錯誤の連続でした。「博多」と名の付く店舗500店くらいに「なぜ博多と名付けたのですか」とアンケートを依頼して。回答があつたのはわずか10店ほどでした。

米満 私たちも大変だったのは活動の準備段階。行政への許可申請、書類提出や交

国際会議で、アジア初の 最優秀ポスターセッション論文賞を受賞

社会人の本学大学院生が、この快挙に大きく貢献

工学研究科資源循環・環境工学専攻

修士課程2年次生 福重 孝之さん

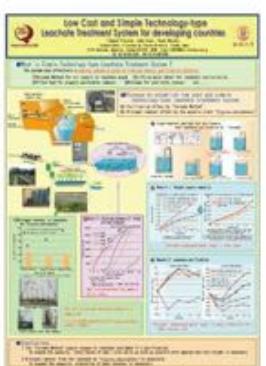


社会デザイン工学科卒論生とともにフィールドワークにいそしむ福重さん(右)。

昨年10月9日(金)、イタリア・サルディニア島で開催された「第12回廃棄物管理及び埋立地に関する国際会議」で、本学大学院工学研究科のチームが「最優秀ポスターセッション論文賞」を受賞しました。この学会は、2年に一度開催される世界最大級の国際会議。研究チームの論文は、65カ国806人の参加者発表論文600編の中から選ばれました。学会の22年にわたる歴史の中で、アジアからの受賞は初めて。こうした快挙を成遂げた研究チームで大きな役割を果たしたのは、本学の大学院生である福重孝之さんです。

論文のテーマは「途上国における簡易型浸出水処理システムに関する研究」。近年、開発途上国では急激な都市化に伴い、廃棄物の処理が大き

福岡市西区の西部(中田)埋立場内には、海外研究者向けのデモンストレーション設備がある。



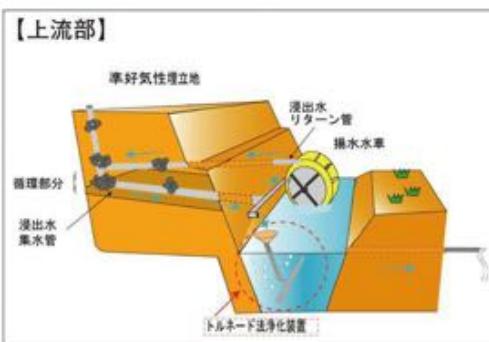
「最優秀ポスターセッション論文賞」を受賞した時のポスター。



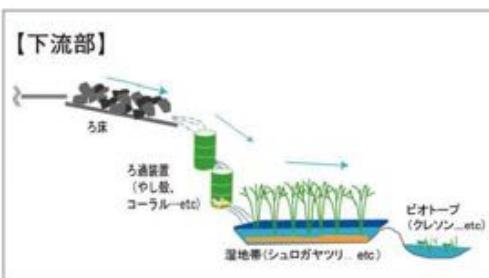
授賞式での福重さん。海外の受賞者とともに。



受賞時の喜びを語る、松藤教授(右)、田中准教授(左)と福重さん(中)。



簡単型浸出水処理システムは、電気ではなく、自然エネルギーと自然の浄化機能を用いる。上流では「トルネード法浄化装置」により、空気で水質浄化を図る。



下流には自然植物のろ過装置と湿地帯、さらにビオトープを造成し、水生植物を植えつけて水質浄化を図る。

福重さんは、ふくおか環境財団の環境リサイクル部に勤務する社会人。本学大学院工学研究科資源循環・環境工学専攻では、文理融合型環境系大学院として、文系や医学・薬学部受賞の対象となつたのです。快挙をたたえる著名な研究者の輪の中にいた福重さんは、松藤康司工学部教員、田中綾子同准教授らとともに、福重さんの姿がありました。

福重さんは、ふくおか環境財団の環境リサイクル部に勤務する社会人。本学大学院工学研究科資源循環・環境工学専攻では、文理融合型環境系大学院として、文系や医学・薬学部受賞の対象となつたのです。快挙をたたえる著名な研究者の輪の中にいた福重さんは、松藤康司工学部教員、田中綾子同准教授らとともに、福重さんの姿がありました。

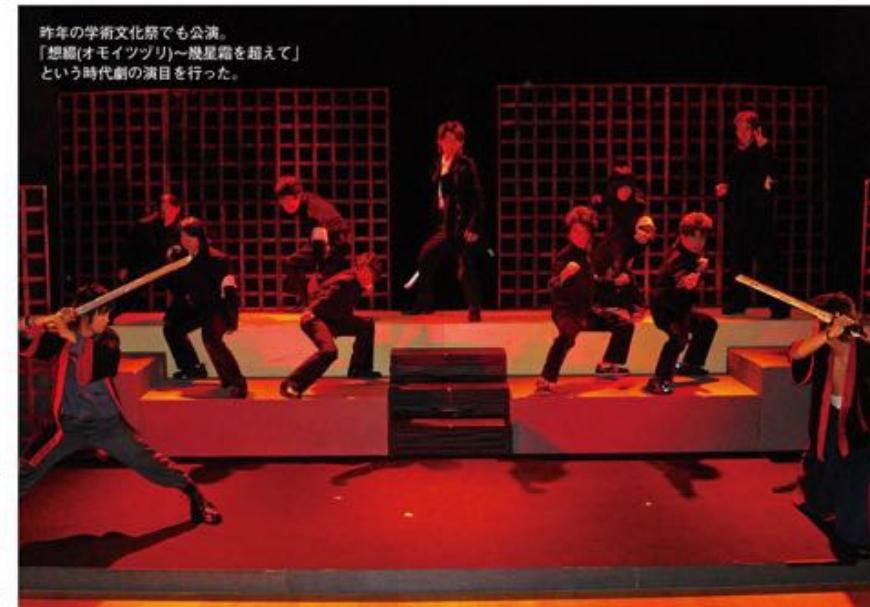
福重さんは、ふくおか環境財団の環境リサイクル部に勤務する社会人。本学大学院工学研究科資源循環・環境工学専攻では、文理融合型環境系大学院として、文系や医学・薬学部受賞の対象となつたのです。快挙をたたえる著名な研究者の輪の中にいた福重さんは、松藤康司工学部教員、田中綾子同准教授らとともに、福重さんの姿がありました。

二十四節気		3月		4月		5月		6月		7月		8月	
4/20頃	穀雨(こくう)	入学式(2日)	修士・博士学位合格者発表(3日)	一般入試(スポーツ科学部特別募集)、社会人入試後期日程(4日)	一般入試(後期日程)(5日)	大学院春季入試合格発表(5日)	一般入試(後期日程)、スポーツ科学部特別募集、社会人入試後期日程(5日)	一般入試(前期日程)、センター型入試、転学士入試合格発表(13日)	一般入試(前期日程)、センター型入試、転学士入試合格発表(13日)	学部留学生入試(2日)	1月	冬季休業終了(5日)	2月
4/21頃	清明(せいめい)	前半授業開始(10日)	社会人入試(後期日程)編・転・学士入試(4日)	大学院春季入試合格発表(5日)	大学院春季入試(14日～18日)	後期授業再開(6日)	大学院春季入試(14日～18日)	海外研修生涯達(豪州)(18日～3月17日)	海外研修生涯達(米国)(18日～3月18日)	医師国家試験(13日～15日)	1月	後期授業終了(12日)	2月
4/24頃	大寒(だいかん)	入学式(2日)	社会人入試(後期日程)編・転・学士入試(4日)	大学院春季入試合格発表(5日)	大学院春季入試(14日～18日)	後期授業再開(6日)	大学院春季入試(14日～18日)	一般入試(前期日程)、センター型入試、転学士入試合格発表(20日、27日)	一般入試(前期日程)、センター型入試、転学士入試合格発表(20日、27日)	医師国家試験(13日～15日)	1月	冬季休業終了(5日)	2月
4/25頃	雨水(うすい)	前半授業開始(10日)	社会人入試(後期日程)編・転・学士入試(4日)	大学院春季入試合格発表(5日)	大学院春季入試(14日～18日)	後期授業再開(6日)	大学院春季入試(14日～18日)	一般入試(前期日程)、センター型入試、転学士入試合格発表(20日、27日)	一般入試(前期日程)、センター型入試、転学士入試合格発表(20日、27日)	医師国家試験(13日～15日)	1月	後期授業終了(12日)	2月
4/26頃	立春(りっしゅん)	入学式(2日)	社会人入試(後期日程)編・転・学士入試(4日)	大学院春季入試合格発表(5日)	大学院春季入試(14日～18日)	後期授業再開(6日)	大学院春季入試(14日～18日)	一般入試(前期日程)、センター型入試、転学士入試合格発表(20日、27日)	一般入試(前期日程)、センター型入試、転学士入試合格発表(20日、27日)	医師国家試験(13日～15日)	1月	冬季休業終了(5日)	2月
4/27頃	雨水(うすい)	前半授業開始(10日)	社会人入試(後期日程)編・転・学士入試(4日)	大学院春季入試合格発表(5日)	大学院春季入試(14日～18日)	後期授業再開(6日)	大学院春季入試(14日～18日)	一般入試(前期日程)、センター型入試、転学士入試合格発表(20日、27日)	一般入試(前期日程)、センター型入試、転学士入試合格発表(20日、27日)	医師国家試験(13日～15日)	1月	後期授業終了(12日)	2月
4/28頃	雨水(うすい)	前半授業開始(10日)	社会人入試(後期日程)編・転・学士入試(4日)	大学院春季入試合格発表(5日)	大学院春季入試(14日～18日)	後期授業再開(6日)	大学院春季入試(14日～18日)	一般入試(前期日程)、センター型入試、転学士入試合格発表(20日、27日)	一般入試(前期日程)、センター型入試、転学士入試合格発表(20日、27日)	医師国家試験(13日～15日)	1月	冬季休業終了(5日)	2月
4/29頃	雨水(うすい)	前半授業開始(10日)	社会人入試(後期日程)編・転・学士入試(4日)	大学院春季入試合格発表(5日)	大学院春季入試(14日～18日)	後期授業再開(6日)	大学院春季入試(14日～18日)	一般入試(前期日程)、センター型入試、転学士入試合格発表(20日、27日)	一般入試(前期日程)、センター型入試、転学士入試合格発表(20日、27日)	医師国家試験(13日～15日)	1月	後期授業終了(12日)	2月
4/30頃	雨水(うすい)	前半授業開始(10日)	社会人入試(後期日程)編・転・学士入試(4日)	大学院春季入試合格発表(5日)	大学院春季入試(14日～18日)	後期授業再開(6日)	大学院春季入試(14日～18日)	一般入試(前期日程)、センター型入試、転学士入試合格発表(20日、27日)	一般入試(前期日程)、センター型入試、転学士入試合格発表(20日、27日)	医師国家試験(13日～15日)	1月	冬季休業終了(5日)	2月
5/1頃	雨水(うすい)	前半授業開始(10日)	社会人入試(後期日程)編・転・学士入試(4日)	大学院春季入試合格発表(5日)	大学院春季入試(14日～18日)	後期授業再開(6日)	大学院春季入試(14日～18日)	一般入試(前期日程)、センター型入試、転学士入試合格発表(20日、27日)	一般入試(前期日程)、センター型入試、転学士入試合格発表(20日、27日)	医師国家試験(13日～15日)	1月	冬季休業終了(5日)	2月
5/2頃	雨水(うすい)	前半授業開始(10日)	社会人入試(後期日程)編・転・学士入試(4日)	大学院春季入試合格発表(5日)	大学院春季入試(14日～18日)	後期授業再開(6日)	大学院春季入試(14日～18日)	一般入試(前期日程)、センター型入試、転学士入試合格発表(20日、27日)	一般入試(前期日程)、センター型入試、転学士入試合格発表(20日、27日)	医師国家試験(13日～15日)	1月	冬季休業終了(5日)	2月
5/3頃	雨水(うすい)	前半授業開始(10日)	社会人入試(後期日程)編・転・学士入試(4日)	大学院春季入試合格発表(5日)	大学院春季入試(14日～18日)	後期授業再開(6日)	大学院春季入試(14日～18日)	一般入試(前期日程)、センター型入試、転学士入試合格発表(20日、27日)	一般入試(前期日程)、センター型入試、転学士入試合格発表(20日、27日)	医師国家試験(13日～15日)	1月	冬季休業終了(5日)	2月
5/4頃	雨水(うすい)	前半授業開始(10日)	社会人入試(後期日程)編・転・学士入試(4日)	大学院春季入試合格発表(5日)	大学院春季入試(14日～18日)	後期授業再開(6日)	大学院春季入試(14日～18日)	一般入試(前期日程)、センター型入試、転学士入試合格発表(20日、27日)	一般入試(前期日程)、センター型入試、転学士入試合格発表(20日、27日)	医師国家試験(13日～15日)	1月	冬季休業終了(5日)	2月
5/5頃	雨水(うすい)	前半授業開始(10日)	社会人入試(後期日程)編・転・学士入試(4日)	大学院春季入試合格発表(5日)	大学院春季入試(14日～18日)	後期授業再開(6日)	大学院春季入試(14日～18日)	一般入試(前期日程)、センター型入試、転学士入試合格発表(20日、27日)	一般入試(前期日程)、センター型入試、転学士入試合格発表(20日、27日)	医師国家試験(13日～15日)	1月	冬季休業終了(5日)	2月
5/6頃	雨水(うすい)	前半授業開始(10日)	社会人入試(後期日程)編・転・学士入試(4日)	大学院春季入試合格発表(5日)	大学院春季入試(14日～18日)	後期授業再開(6日)	大学院春季入試(14日～18日)	一般入試(前期日程)、センター型入試、転学士入試合格発表(20日、27日)	一般入試(前期日程)、センター型入試、転学士入試合格発表(20日、27日)	医師国家試験(13日～15日)	1月	冬季休業終了(5日)	2月
5/7頃	雨水(うすい)	前半授業開始(10日)	社会人入試(後期日程)編・転・学士入試(4日)	大学院春季入試合格発表(5日)	大学院春季入試(14日～18日)	後期授業再開(6日)	大学院春季入試(14日～18日)	一般入試(前期日程)、センター型入試、転学士入試合格発表(20日、27日)	一般入試(前期日程)、センター型入試、転学士入試合格発表(20日、27日)	医師国家試験(13日～15日)	1月	冬季休業終了(5日)	2月
5/8頃	雨水(うすい)	前半授業開始(10日)	社会人入試(後期日程)編・転・学士入試(4日)	大学院春季入試合格発表(5日)	大学院春季入試(14日～18日)	後期授業再開(6日)	大学院春季入試(14日～18日)	一般入試(前期日程)、センター型入試、転学士入試合格発表(20日、27日)	一般入試(前期日程)、センター型入試、転学士入試合格発表(20日、27日)	医師国家試験(13日～15日)	1月	冬季休業終了(5日)	2月
5/9頃	雨水(うすい)	前半授業開始(10日)	社会人入試(後期日程)編・転・学士入試(4日)	大学院春季入試合格発表(5日)	大学院春季入試(14日～18日)	後期授業再開(6日)	大学院春季入試(14日～18日)	一般入試(前期日程)、センター型入試、転学士入試合格発表(20日、27日)	一般入試(前期日程)、センター型入試、転学士入試合格発表(20日、27日)	医師国家試験(13日～15日)	1月	冬季休業終了(5日)	2月
5/10頃	雨水(うすい)	前半授業開始(10日)	社会人入試(後期日程)編・転・学士入試(4日)	大学院春季入試合格発表(5日)	大学院春季入試(14日～18日)	後期授業再開(6日)	大学院春季入試(14日～18日)	一般入試(前期日程)、センター型入試、転学士入試合格発表(20日、27日)	一般入試(前期日程)、センター型入試、転学士入試合格発表(20日、27日)	医師国家試験(13日～15日)	1月	冬季休業終了(5日)	2月
5/11頃	雨水(うすい)	前半授業開始(10日)	社会人入試(後期日程)編・転・学士入試(4日)	大学院春季入試合格発表(5日)	大学院春季入試(14日～18日)	後期授業再開(6日)	大学院春季入試(14日～18日)	一般入試(前期日程)、センター型入試、転学士入試合格発表(20日、27日)	一般入試(前期日程)、センター型入試、転学士入試合格発表(20日、27日)	医師国家試験(13日～15日)	1月	冬季休業終了(5日)	2月
5/12頃	雨水(うすい)	前半授業開始(10日)	社会人入試(後期日程)編・転・学士入試(4日)	大学院春季入試合格発表(5日)	大学院春季入試(14日～18日)	後期授業再開(6日)	大学院春季入試(14日～18日)	一般入試(前期日程)、センター型入試、転学士入試合格発表(20日、27日)	一般入試(前期日程)、センター型入試、転学士入試合格発表(20日、27日)	医師国家試験(13日～15日)	1月	冬季休業終了(5日)	2月

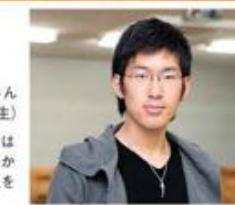
全学生の3割にあたる約6,000人が参加している課外教育活動。そこには、若々しい情熱がある。仲間たちとの

演劇部

公演終了後の
拍手と達成感。
芝居は一度やつたら
やめられない。



昨年の学術文化祭でも公演。
「想織(オモイツヅリ)～幾星霜を超えて」
という時代劇の演目を行った。



幹事:全 浩彦さん
(人文学部教育・臨床心理学科3年次生)
『2回の定期公演に加え、昨年は七隈祭にも出演しました。これからもパフォーマンスの可能性をどんどん広げていきたい』



九州屈指の
強豪チーム。
練習は厳しく。
そして楽しく。

九州屈指の強さを誇る柔道部女子。昨年も九州学生優勝大会(5人制)で3年連続7度目の制覇を達成するなど、素晴らしい成績を残しました。また、個人戦でも川上由貴さんや石本智子さんが全国トップレベルの成果を挙げています。そんな強豪チームですが、普段は皆とてもかわいい女性たち。厳しい練習とリラックスした時間とのバランスが良く、とても良い雰囲気です。今年の目標は昨年以上の成績を残すこと。元全日本体重別チャンピオン中橋治美監督のもと、今日も気合の入った元気な声が柔道場から聞こえています。



幹事:福岡 希生さん
(人文学部日本語日本文学科3年次生)
『言葉に制約がないように、作品にも制約はありません。気持ちを存分にぶつければ、それで良いと思っています』



固まりきれない
混沌とした思い。
その熱を言葉にする。
小説や詩が生まれる。

現在の幹事は56代目。その数字が物語るように、長い伝統を持つ文芸部。部員も約60人と充実しています。普段の活動は週2回、火曜と金曜の午後6時から。小説・詩など部員の作品を批評し合う評議会が自由に作品を批評し合う様子は、真剣なもので、言葉を愛し、言葉で何かを創りたままで、言葉を愛し、言葉で何かを創りたいという情熱だけは、みんな同じ。だからまとまっているんですね』。これが文芸部の人気の秘密です。

重量挙げ部

努力の結果が
きちんと数字に出る。
シンプルだけど
奥深い。



「うっ!」という気合とともに100キロ以上のバーベルを举起する。そのパワフルなイメージとは裏腹に、スマートな選手たち。瞬発力が決め手で、体重別に分かれているため余分な筋肉はつけません。しかし腹筋や背筋はしなやかに力強く、流行の「ヤセマッチョ」体型なのです。現在部員は6人。大会団体出場のためには最低8人が必要なため、部員を増やすのが今の大好きな目標とか。スマートで気が優しくて力持ち。そんな彼らの熱い歓迎メッセージは「フレンドシップで和気あいあいとしたサークルです」。



主将:田中 翔太郎さん
(商学部商学科4年次生)
★第55回全日本学生ウエイトリフティング選手権大会62キロ級優勝



部員6人で女子マネージャーも6人!
意外にも(?)女性に人気のサークル。

大学生として身に付けておきたい一般教養。
人間として守りたいルールやマナー。
さあ、この講座で学ぼう！

知っていますか？

「薬物乱用の怖さ」

早分かりチャート

薬物乱用の怖さ

アルコールや喫煙は 薬物乱用への入り口

コンパで酒を飲んで楽しかった、
たばこを吸うと落ち着く
依存は心地良さの記憶

本来は努力で得る成功や
満足感・達成感などの「快」を
努力なしに得ようとする

覚せい剤や大麻などのドラッグからは、
簡単に強烈な快楽を得られる

中毒・依存症

人間失格

(凶暴性・無気力・情緒不安定など)

しかも完治は困難!

一度くらい…が一番怖い！

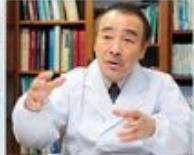
ドラッグの怖さを正しく知ること
○強い気持ちで誘惑を断ること！

友人たちにも怖さを伝えること
○不安や悩みは大学や周りの人々
相談すること！



先生から一言――

「ここで挙げたようなドラッグは簡単に快楽を与え、一度味を覚えたら一生忘れられなくなります。本来、人間は懸命に努力して、その成果や達成によって満足感すなわち「快」を得ます。しかし努力なしにドラッグによって強烈な快楽を得たとしたら、その後はこれに頼ってしまうのです。ドラッグは人間の弱いところに付けこむ悪魔。だから怖いのです。」



薬学部薬学科
藤原道弘教授
(薬学博士・本学副学長)

現在でも後を絶たない、薬物の不正使用事件。

人体に与える深刻な影響は？なぜ止められなくなるのか？

本学副学長でもある藤原薬学部教授に分かりやすく説明してもらいました。

薬物乱用とは薬剤を
本来の目的以外で
使用すること

薬物乱用とは、医療目的から外れて使用すること、あるいは不正に使用することを指します。ここで問題となるドラッグ（乱用薬物）は、心に害を与えるもので、シンナー、大麻（マリファナ）、ヘロイン、コカイン、睡眠導入薬などがあります。ドラッグの魔力に取りつかれ、自力ではなかなか止められないような依存症になり、反社会的あるいは非社会的行動をしてしまうのです。昨

一度くらいなら…は
通用しない
絶対使用しないことが
唯一の道

大麻（マリファナ）は、覚せい剤と共に世界的に最も多く乱用されているドラッグです。その主成分であるTHC（テトラヒドロカンナビ

いう理由により、第二次世界大戦中、兵士に与えられていました。戦後は徹夜勉強や抗うつ薬として使用された時期もあります。覚せい剤の怖さは、常用すると被害妄想が著くなり、暴力的になることであります。「誰かが自分を襲おうとしている。やられる前にやってやる」そんな被害者意識で暴力を振るつてしまふのです。

ノール）は、「…」すなわち精神に最も影響を与えます。「心の中枢を侵す」のです。その害は、たばこや酒による害とは比較にならないほど、心身や社会に悪影響をもたらします。私たちはネズミを用いて大麻が及ぼす影響を研究しました。大麻の長期投与を続けていくと、その後には仲間同士の体が触れ合つただけで激しい鳴き声とともに飼育箱の中を激しく暴れまわったり、他のネズミを噛み殺すなどの行動が見られました。このような異常性はネズミをストレス環境状態にしておくと、大麻の1回投与でも発現します。このように大麻は深層心理に直接作用して、使用者の心理状態を拡大させるのが特徴です。大麻常用者は情動の調節の欠如により、突然的に笑ったり、泣いたり、暴力を振るつります。思考過程や記憶にも障害が起き、無気力になります。また、大麻を止めたとしても何らかのストレスによって同様の症状がフランシュバッケ（再燃現象）として現れことがあります。「」の現象は覚せい剤などにも見られます。ドラッグの常用、すなわち薬物依存症になってしまふと、完治は難しいのです。そうならないためには、絶対に使用しないといふ強い気持ちが必要です。一度くらいいなら…は通用しないのです。



覚せい剤は大脳の快楽を感じさせる中枢に直接働きかけるため、努力や苦労などを通じて人間力を養うことを諂ひようになる。

スポーツ選手の栄養学的コンディショニングに関する研究

スポーツ選手はもちろん、社会全体の食環境を改善したい。

福岡大学スポーツ科学部准教授 小清水孝子



小清水ゼミの学生の皆さんと、スポーツ栄養をテーマに研究。スポーツをする子どもたちの食生活調査なども進めている。

大学時代の新体操選手との会話が研究のきっかけに

アスリートが、試合に最高のコンディションで臨むための食事。小清水先生は、その研究を長く続け、シドニー、アテネ、トリノ（冬季）、北京の各オリンピックで成果を上げてきました。研究のきっかけは、大学時代。アルバイトでアスリートの食事調査を頼まれ、新体操の合宿所を訪れたことが始まりです。国内トップレベルのある選手は「試合前の1週間はランゴしか食べません」と話しました。合宿所で出される食事は、減量に不向きなものばかり。その選手の血液検査の結果は、予想どおり鉄欠乏性貧血でした。果たしてこれで良いのだろうか？小清水先生は、その思いから「スポーツと食事」に興味を持つようになりました。

普段の食生活がトレーニングの一部であることを気付いてもらう

先生は管理栄養士、健康運動指導士の資格を取得。スポーツクラブのインストラクターなどを経て、シドニー・オリンピックに向けて競技団体の医科学委員として自転車競技と新体操選手の栄養管理に携るようになりました。トップアスリートたちの食事への興味は、それに

よって記録や成績がどれだけ伸びるか

になります。しかし食事は魔法の薬ではありません。しかも最低3ヶ月から半年くらい経たないと成績は出てきません。先生は選手たちに食事の重要性を理解してもらうため、体脂肪率・血液検査データなどを常に示して栄養状態をフィードバックしました。普段の食生活がトレーニングの一部であり、大事なもう一つの要素であることを、選手たちに「気付いてもらう」「そして「自己管理できる」ように



2003年4月から2007年3月まで、国立スポーツ科学センターの管理栄養士、研究員として勤務。多くのトップアスリートの栄養サポートを行なうとともに、「競技者の栄養学的コンディショニング」「競技者の推定エネルギー必要量」について研究。

栄養サポート活動を通して ジュニア選手の育成に力を注ぎたい

指導することに重点を置いたのです。その結果、自転車競技の選手たちは、体脂肪率をほぼベストの状態に落としてオリンピックに臨むことができました。小清水先生の「食育」はアテネ、北京そしてロンドンオリンピック代表を目指している選手たちにも受け継がれています。



牛乳や野菜ジュースを+A

ゼミでは、スポーツをする子どもたちの食生活調査なども進めています。また、コンビニ弁当の改善提案をしたり、福岡県体育協会医科学委員として地域活動にも力を入れています。さらに現在、全国で16人しかいない公認スポーツ栄養士（小清水先生もその1人）を、九州で数多く輩出したいという夢もあります。

朝食は健康な食生活の基本。

最後に本学の学生の皆さんへ、食事のアドバイスをいただきました。「とにかく朝ごはんを食べること。牛乳と100%果汁ジュースと卵1個にごはんをパンでもよいです。これだと一人暮らしでもお金がかかるないし、日持ちもします。昼食は、葉子パンじゃなくサンドイッチに。缶ジュースより牛乳や野菜ジュースにして。夕食は、外食なら単品より定食を。揚げものは控えめにしてください。野菜が足りない時は野菜ジュースをプラスしましょう」。

アスリートのコンディショニングに関する食事から、地域の食育指導、次世代指導者の育成、そして本学学生の皆さん

の食事指導まで、多岐にわたる小清水先生の研究と実践活動。「食の質」が問われ

る時代に、今後ますます活躍の場が広が

りそうです。

研究分野に関して小清水先生が中央と大きなバイブルになったことも本学にとっては幸いでした。「スポーツ栄養」をテーマに2008年から担当した

CLOSE-UP!
小清水先生のオススメ

冷蔵庫・食品棚に常備しておこう！

青菜は水洗いしてそのままラップに包んで電子レンジでチンしてゆで、冷凍しておこう！

すぐ食べられる野菜

すぐ食べられる果物

カットカツ

カットワカメ

すりごま

焼きのり

主食

主菜

副菜

果物・乳製品

© Fukuoka University Sports Nutrition



オリンピック選手に配布される「五穀粉」。先生が執筆した食と食生活に関するアドバイスが掲載されている。



スポーツ栄養先進国オーストラリアのAustralian Institute of Sportを訪問した際、スポーツ栄養の世界的権威Dr. Louise Burkeにインタビュー。

新しい教育 研究施設17号館・18号館

教 | 育 クローズアップ

Educational close-up



学生、教員が密接な関係で講義・実験に集中

18号館



臨床薬学に強い薬剤師を養成

17号館

勉学・実験・研究に
集中できる18号館

理学部 林政彦 教授

昨年8月31日(月)に竣工した18号館は、理学部学生および大学院生が勉学・研究に集中しやすい場所を目指した建物です。理学部の講義室7室、医学部の学生も利用する生物学実験室、地学実習室、図書館理学部分室などの共通施設は、学部・全学の学生の利便性と安全を念頭に置いた施設です。また、2008年に新設された二つのインスティテュートの研究室も設置され、新しいスタイルの教育を展開しようとしています。そして、忘れてはならないのは、11年間分散していた地球圏科学科の全研究室が一つ屋根

下に居を構えたことです。学生、教員の生身の密接な交流、連絡の場が確保されたことを日々実感しています。研究室の実験室ではさまざまな分析装置、実験装置などが安全かつ使いやすく配置できるよう設計されています。屋上の利用も保障されました。多くのゼミ室も確保できました。そんな18号館で学生は、夜遅くまで実験・研究に熱中しています。



充実した設備で、一人一人がしっかりと学べる。

薬学部 6年制教育の中核となる施設

薬学部 片岡 泰文 教授

昨年8月21日(金)に竣工した17号館は、主に6年制教育プログラムに即した施設を備えています。6年制では、6ヶ月間の長期実務実習が義務づけられていますが、実務実習を受けるための学力や技能が身に付いているかを評価する「公用試験」(4年次事前学習修了時に実施に合格しなければ、参加できません)。17号館にはその試験に備えるための調剤実務室や製剤室、SGD(小グループ討議)室などがあります。最新の設備は日本でも屈指のもので



はないでしょうか。学生の皆さんはこれらの施設を利用してシミュレートを行い、技能や知識を磨きます。17号館の完成により、臨床薬学に強い薬剤師を育成する理想的な環境が整ったことは、大変喜ばしいことだと思います。学習室もさらに充実しましたので、学生の皆さんのがんばりを高める場になるでしょう。また、1階前庭に整備された薬用植物園は、やしの場になりそうですね。



最新設備で実践的に学べるので、就職後の実務にもスムーズに対応できる。



図書館 理学部分室



地球科学実験室(X線回折装置)



情報実習室(社会数理・情報インスティテュート)



SGD(小グループ討議)室



薬物治療モニタリング室



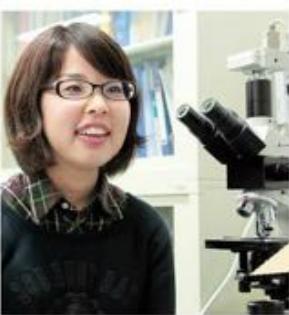
調剤実務室

Student's voice
学生の声

今の学部生の皆さん
うらやましい!

念願だった地球圏科学科の施設統合が、一番の喜びです。私たちが学部で学んでいたところを考えると夢のよう。今の学部生の皆さんのがうらやましい!研究室も快適で使いやすくなりました。各研究室の研究テーマに合った工夫があり、ニーズを取り入れて造られたということがとても分かります。

理学研究科地球圏科学専攻博士課程後期2年次生
住吉 美保さん



Student's voice
学生の声

リアルな学びを体験できる!

教室では実感として学べなかったことも、現場と同じ設備を使ってシミュレートする授業だと、とてもリアルに感じられます。あ、こういうことなんだ!という発見の連続です。また、きめ細かな配慮や工夫もあり、使い心地が良い設備ですね。1階のパワールームは特にきれいで、使うのが楽しくなります。

薬学部薬学科4年次生 川崎 真由子さん



Fine Dream
Fukuoka University 22

就活日記 My チャレンジ



薬学部製薬化学科
2007年卒業
谷川(旧姓 井上) 希代子さん

エーザイ株式会社
栃木医薬二部

「うちの会社は良い会社だよ」と社員の方々が胸を張って話されるのを聞いたことも、大きな志望理由になりました。「自分の会社に誇りを持たれていることにあこがれを感じました」。

面接で、なぜ薬剤師ではなくMR志望かを聞かれた谷川さん。答えは先ほどのとおりでした。MRに対するしつかりとした考え方方が好印象だったようです。大学時代に頑張ったことは、という質問には薬学部バレー・ボール部での日々を語

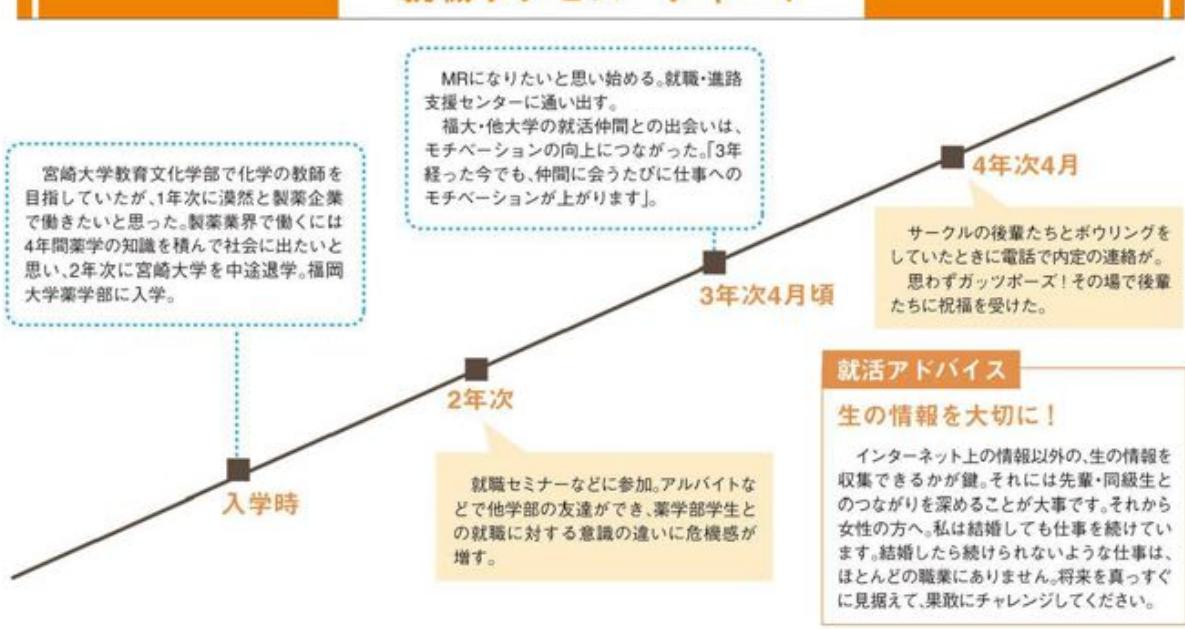


ヨーロッパ研修でさらに向上心が高まった。

持ちも忘れません。谷川さんは今
日も医師・薬剤師・看護師・コメ
ディカル(医療職員)の方とともに、
地域医療の発展に貢献しています。

何時間でも熱く語れるような掛け替えのない経験を持つこと。

職サクセス・チャート



宮崎大学教育文化学部で化学の教師を目指していたが、1年次に漠然と製薬企業で働きたいと思った。製薬業界で働くには4年間薬学の知識を積んで社会に出たいと思い、2年次に宮崎大学を中途退学。福岡大学薬学部に入学。

MRIになりたいと思いつめる。就職・進路支援センターに通い出す。福大・他大学の就活仲間との出会いでモチベーションの向上につながった。「3年経った今でも、仲間に会うたびに仕事へのモチベーションが上がります」。

サークルの後輩たちとボウリングをしていたときに電話で内定の連絡が。思わずガッツポーズ! その場で後輩たちに祝福を受けた。

就活アドバイス

インターネット上の情報以外の、生の情報を収集できるかが鍵。それには先輩・同級生とかつながりを深めることが大事です。それから女性の方へ。私は結婚しても仕事を続けています。結婚したら続けられないような仕事は、ほとんどの職業にありません。将来を真っすぐ見据えて、果敢にチャレンジしてください。

2009年9月10日、司法試験会格者発表の日。合格者番号は福岡高等検察庁の掲示板に貼り出される。加地繁行は自宅にいた。加地は旧司法試験に挑戦した時、掲示板を見に行つた。結果は不合格。そんな苦い経験がある。ジンクス。自信はあつたけれど、今回はインターネットの発表で結果を知ろうと思った。志してから8年、思えば長い道のりだった。法学部を卒業後、30歳まで学習塾の講師をしていた。それなりに充実していたが、胸にわだかまるものがあった。人に感謝される、人に奉仕できる仕事がしたい。「司法試験に挑戦してみるか。年齢的にも今が決断のラストチャンス」

だろう」。加地の独学が始まつた。
しかしどうしても壁を乗り越える
ことができない。母校である福岡
大学の法科大学院に最後の望みを
託した。そこには同じ志を持つ仲間
がいた。勉強に集中できる環境が
あつた。奨学金を受けることもで
きた。自らに課したのは1週間の
サイクル。平日は朝5時半に起き、
夜の9時半まで勉強。土曜・日曜の2
日間は平日5日間で達成できな
かったノルマを補足する。日々の
努力は確実に自信となつていった。
掲示板での発表は午後4時。午後
6時ころH.P.にアクセスした。不思
議に心は落ち着いていた。パソコンの
画面に、自分の受験番号があつた。

同じく2009年9月10日、合格者発表の日。春田康秀も自宅にいた。掲示板を見に行くのが怖かった。もし不合格だったら、どんな顔をしていいのか分からぬ。インターネットでの発表を待つ間、これまでの歳月に思いをはせた。

春田は在学中から法曹界を意識していた。2003年に法学部を卒業。すぐに民間の司法試験予備校へ通い始める。予備校は週3回、勉強はアルバイトをしながら1日6時間。これでは全然足りない。25歳の時、法科大学院に入学する。環境は劇的に変わった。恵まれた環境、励まし合う仲間たち。何より先生方の熱心

A photograph of two men in dark suits and ties standing outdoors in front of a large, modern building with a curved facade and many windows. The man on the left is taller and has short hair, while the man on the right is slightly shorter and has longer hair. They are both smiling at the camera.

A photograph of two men in dark suits and ties standing in a library aisle. They are both holding open books, likely Bibles, with their hands visible. The man on the left is looking towards the camera, while the man on the right has his gaze directed downwards at his book. The background consists of tall, well-stocked bookshelves filled with books of various colors, primarily black, white, and red. The lighting is bright, typical of an indoor office or library setting.

合格のために必要なのは継続力と集中力、と話す加地篤行さん（左）。理解して覚えることが大事、自分の勉強法を確立することも、と春田康秀さん（右）

さがありがたかった。理想的な模範解答を示してくれる。質問や相談にも親身になって応えてくれる。卒業後も大学院の自習室を使うことができた。朝7時から夜12時まで開放されている自習室。院生たちは日々、熱い志を胸に猛勉強している。先生の対応も在学中と変わらない。「頑張ってるか」、その一言で毎日の猛勉強の疲れがとれる気がした。やる気に拍車がかかった。

発表の日、午後4時30分ごろ。すぐにHPにアクセスした。自分の受験番号があった。信じられない。友人も確かめてもらつた。「大丈夫、合格してるよ」。安堵感と解放感。「親孝行」という言葉が、なぜだか頭に浮かんだ。

記述の裏付けをとり、原稿に仕上げる。その作業の繰り返しです」。やがてリストナーから、その時々のテーマに関する問い合わせや、励ましの言葉などが電話や手紙で届くようになりました。番組開始から20年を経た2008年。「福岡おもしろヒストリー」は一冊の本になります。「スポーツナー様のご好意、たくさんの方々とのコミュニケーションの広がり、その結晶です」と甲斐さん。毎日の課題をクリアして、未来への種をまき続けて、芽吹いた芽は、大きく育



ワンマンシステムのスタジオで。「仕事を続けるために、絶対にクリアしなければならない課題をこなす。社会人になったら毎日が試験です」と甲斐さん。



オープンスタジオで『SUPER RADIO MONSTERラジ★ゴン』オンエア中。BUTCHさん、齊藤みみさんと、番組によって声のトーンや喋り方を変えるところがプロフェッショナル。

「福岡おもしろヒストリー」。続編はチカラ。22年も続く。

各種専門学校の講師、式典やイベントの司会、放送原稿の執筆。数々の仕事をこなしながら、甲斐さんは今日もマイクに向かいます。そのマイクの向こうには誰もいません。「いいえ、たくさん的人がいますよ。イメージーションを膨らませれば、たくさんのことが見えてくる。大切なのは想像すること。思いを広げること。そのイメージがコミュニケーションを確かなも

福岡 80.7MHz 行橋 81.8MHz
北九州 80.0MHz 糸島 81.3MHz
久留米 82.1MHz 宗像 84.1MHz
大牟田 87.0MHz

開始20年を記念して1冊の本になった「福岡おもしろヒストリー」。あまりの人気に、現在は入手困難とか。
おもしろヒストリー」原稿執筆のための取材ノートは、書いているものが5冊目になるのだそう。番組は、全曜日の午前11時55分からオンエア中。

COLUMN

「エフエム福岡」に息づく 福岡大学DNA

多士済々の福岡大学OB・OGが働く「エフエム福岡」。アナウンサーとして勤務する西川諭さんは「他の局も含め、この業界には福岡大学出身者が多いですね。自由でクリエイティブなところが福大生に向いているのかな」と語ってくれました。ここにも福岡大学DNAが。



左から)綱田和彦さん、西川諭さん、甲斐祐子さん、安藤誠一郎さん。月~木曜日の午前6時~8時オンエア中の「STAND UP! MORNING -スタモニ-」を担当している西川さん。

「エフエム福岡」に
勤務されている
福岡大学卒業生

- 営業部次長 横山 修司さん(経済学部産業経済学科 1988年卒)
 - 営業部課長 繩田 和彦さん(経済学部経済学科 1991年卒)
 - 営業部 渋谷 美恵子さん(人文学部ドイツ語学科 1989年卒)
 - 総務部課長 安藤 誠一郎さん(商学部商学科 1991年卒)
 - 編成制作事業部アナウンサー 西川 諭さん(商学部商学科 1997年卒)
 - 東京支社 池田真紀さん(商学部貿易学科 1996年卒)

「さうですね。」「うーん、うまいなあ」と、甲斐さんは取材、編集、原稿書きと何でもやりました。「おかげさまで、デイレクター、ミキサー、ライターとさまざまな経験を積むことができました」。

各種専門学校の講師、式典やイベントの司会、放送原稿の執筆。数々の仕事をこなしながら、甲斐さんは今日もマイクに向かいます。そのマイクの向こうには誰もいません。「いいえ、たくさん的人がいますよ。イメージーションを膨らませれば、たくさんのことが見えてくる。大切なのは想像すること。思いを広げること。そのイメージがコミュニケーションを確かなも

福岡 80.7MHz 行橋 81.8MHz
 北九州 80.0MHz 糸島 81.3MHz
 久留米 82.1MHz 宗像 84.1MHz
 大牟田 87.0MHz

開始20年を記念して1冊の本になった「福岡おもしろヒストリー」。あまりの人気に、現在は入手困難とか。
 「おもしろヒストリー」原稿執筆のための取材ノートは、書いているものが5冊目になるのだそう。番組は、全曜日の午前11時55分からオンエア中。

コミュニケーションと イメージネーション。

株式会社エフエム福岡
パソコンリテイ&ディレクター 甲斐祐子
福岡大学商学部貿易学科 1979年卒業



**家庭と両立できる仕事。
1人の人間として
自立できる仕事を探して。**

「社会人になつたら毎日が試験です。」
クションとミキシング、アナウンスが一度にこなせる「エフエム福岡」ならではの設備。甲斐祐子さんは、コンピューターなどさまざまな機器を自分で操作し、タイミングを計つて、マイクに顔を向けています。優しく深く透んだ声が、スタジオ内に響きました。甲斐さんが担当する番組「福岡おもしろヒストリー」も、こうして制作されています。「最初は機器の扱い方が分からなかつたのですが、懸命に覚えました。仕事を続けるために絶対にクリアしなければならない課題ですかね」。絶妙の間があつて、ぽつりと一言、「社会人になつたら毎日が試験です。」

ディレクター、ミキサー、ライターと、さまざまな経験を積む。

甲斐さんは、宮崎生まれ。先祖は椎葉の鶴富屋敷—平家の鶴富姫と源氏の武将・那須大八郎の悲恋伝説にもつながる古い家系だったとか。「私が『福岡おもしろヒストリー』を担当しているのも、何かの縁かも知れませんね」。熊本を経て、福岡に移り住んだのは小学2年生の時。それからはずっと福岡です。大学受験のころの夢は、英語をマスターして世界を舞台に活躍すること。家が近いということもあり、福岡大学の商学部貿易学科に入学。大学4年次には主席となり、卒業式では商学部の総代として学長か

枚かの写真を見せられ、考る間もなく1枚を選ぶと、すぐにスタジオに呼ばれてマイクの前でトーク開始です。写真で喚起された思い出話や感想話を話す人が多い中、甲斐さんは1枚の写真からライマジネーションを膨らませ、さらにジャーナリスティックな視点から社会情勢にまで話を広げました。「装いのない素の能力、人間力が試されたのだと思います」。甲斐さんは見事、合格しました。採用されたのはわずか2人。当時から「エフエム福岡」は少数精鋭主義、そして実践主義。本業のアナウンサーとしてのデビューは入社式の日・録音した番組が、もうその日にオンエアされていました。「毎日が試験でした。

卒業証書を受けました。大学時代の思い出といえば、ESS(英語研究部)、素晴らしい先輩との出会いや、ディベート大会などの活動を通して、コミュニケーションの楽しさを知りました。コミュニケーションの基本は話すこと。アナウンサーへの興味が芽生え、大学3年次の春休みに地元テレビ局のアナウンスセミナーを受講します。当時はまだ女性の就職は狭き門。文系の専門職としても魅力を感じていました。将来、家庭を持つても続けられる仕事。自立できる仕事を…。そんな時、ラジオ放送局「エフエム福岡」が女性アナウンサーを募っていました。

第10回 寄付者ご芳名一覧

福岡大学創立75周年記念事業募金の趣旨に賛同いただいた皆さま方から、任意のご寄付にもかかわらず、多大なるご協力が寄せられておりますことに深く感謝いたしております。ここに、ご寄付をいただきました方々のご芳名を左記要領のとおり掲載させていただきます。なお、本募金は平成22年3月末まで実施いたしておりますので、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

■ 寄付者ご芳名掲載要領

一、本号では、平成21年8月21日から平成21年12月10日までの寄付者のご芳名を掲載します(以後、寄付者のご芳名の公表が終了するまで毎号で行います)。

二、法人、在学生、生の父母(保護者)、卒業生、職員、その他という募集対象区分ごとに寄付金額の多い順、およびご芳名は五十音順に掲載します。

三、分割での払い込みの方は、平成21年8月21日から平成21年12月10日までにご寄付をおいただいた金額と募金期間中の累計金額を一括で掲載します。

※1 本募金活動終了後、最終寄付者名簿(芳名録)を作成し公表する予定です。

※2 「被寄付金額について」本募金は、原則として、個人法人を問わず寄付金受取の対象となりますが、お手元にお送りしています「募金趣意書」に記載しているので、ご質問ください。

ます(う)お願い申し上げます。

寄付状況		
区分	件数	金額(円)
在学(校)生ご父母(保護者)	3,438	163,675,968
卒業生	3,759	237,723,523
法人	548	406,000,000
職員	1,248	102,052,055
その他	54	7,372,662
合計	9,047	916,824,208

募金に関するお問い合わせ先

福岡大学 創立75周年記念事業募金事務室
〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19番1号
TEL 092-871-6631(代) 内線2120~2122
FAX 092-871-6826
E-mail bokin@adm.fukuoka-u.ac.jp

法人(個人事業所を含む)

医療法人江浦耳鼻咽喉科

クリニック

株式会社学生服センター

カク

株式会社伊國屋書店

NTTグループ

五百万円

株式会社日本設計

二百万円

愛知株式会社

百万円

株式会社日建設計

一千五万円

山下医科器械株式会社

五十万円

川南山口整形外科医院

コクヨ九州販売株式会社

株式会社三晃空調 九州支店

二百万円

学校法人九州女子高等学校

三十万円

医療法人あまがせ産婦人科医院

株式会社イトーキ

二十万円

医療法人平野内科消化器科医院

医療法人まつゆき小児科医院

医療法人社団緑風会

丸善株式会社 福岡支店

五百萬円

学校法人九州女子高等学校

三十万円

赤司クリニック

十萬円

たの眼科医院

五万円

株式会社ミツワ商会

二十万円

社団法人福岡市薬剤師会

五万円

株式会社福岡中央銀行

三十万円

医療法人まつゆき小児科医院

五万円

株式会社ミツヤマ電気

三万円

三原機工株式会社

三万円

橋口皮膚泌尿器科医院

二万円

新日本空調サービス株式会社

医療法人順和 長尾病院

二万円

株式会社永富調剤薬局

二万円

医療法人江浦耳鼻咽喉科

二万円

株式会社学生服センター

カク

株式会社伊國屋書店

五百萬円

西部ガス興商株式会社

株式会社シー・アール・シー

新日本空調サービス株式会社

ご父母(保護者)

1 福岡大学

株式会社アケボノクラウン

飯田グリーン

クリーンケミカル株式会社

株式会社熊本アイホー

済生会 二日市病院

有限会社松尾商店

森水牛乳 七隈駅前店

铭建産業株式会社

森水牛乳 七隈駅前店

三田井裕宣

長沼富美代

賀来美夫

中野文作

白石孝信

高橋耕一

前田清人

江口尚彦

賀来美夫

十萬円

鈴木貫史

長沼富美代

賀来美夫

中野文作

白石孝信

高橋耕一

前田清人

江口尚彦

賀来美夫

十萬円

鈴木貫史

長沼富美代

賀来美夫

中野文作

白石孝信

高橋耕一

前田清人

江口尚彦

賀来美夫

十萬円

鈴木貫史

長沼富美代

賀来美夫

中野文作

白石孝信

高橋耕一

前田清人

江口尚彦

賀来美夫

十萬円

鈴木貫史

長沼富美代

賀来美夫

中野文作

白石孝信

高橋耕一

前田清人

江口尚彦

賀来美夫

十萬円



ご 報 告

福岡大学薬学部同窓会から
ご寄付をいただきました。

平成21年12月21日(月)、福岡大学薬学部同窓会から本学創立75周年記念事業募金に対し寄付のお申込みがあり、正岡民次薬学部同窓会会长から衛藤学長に寄付金目録が手渡されました。



創立75周年記念事業「施設整備事業」計画大要(募金対象事業)

「施設整備事業」所要資金総額300億円(概算) <資金計画>自己資金280億円 募資金目標額20億円

商学部棟(仮称)



本学で最も長い歴史と伝統を誇る商学部を軸とした75周年記念棟であり、他学部の学生も利用可能な学生満足度の高い、洗練された学びと交流の空間です。

着工(予定):平成22年3月
竣工(予定):平成23年12月

完成于初

新中央図書館棟(仮称)



教育・研究のさらなる発展にふさわしい設備と外観を備えたシンボル的施設として、本学が蓄積した膨大な知的財産や情報収集・発信のための学術情報システムを利用できる、地域社会に開かれた総合図書館を目指します。

着工(予定):平成22年3月
竣工(予定):平成24年3月

完成予想圖

福岡大学病院新診療棟(仮称)

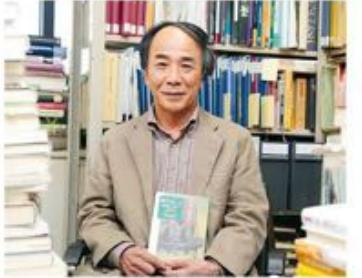


新棟には、現在の外来部門のほとんどが器質別センターとして移転し、総合周産期母子医療センター、小児医療センター、ハートセンター、消化器センターの入院病棟が開設され、地下鉄7隈線福大前駅と直結します。また、診療棟横に300席を有するメディカルホールと地階にはメディカルフィットネスを設置し、ここで健康・食育・創薬・医療の連携を実践していきます。

着工：平成20年10月 竣工（予定）：平成22年12月

『歴史はもっとおもしろい—歴史学入門12のアプローチ』発刊

人文学部歴史学科編著「歴史はもっとおもしろい」が昨年10月、西日本新聞社より発刊されました。本書は平成18年に出版された「歴史はもっとおもしろい—12のテーマで読み解く、高校生のための歴史学入門」の続編。マスコミにも大きく取り上げられ、1年も経たないうちに3刷、6,000部が出版された前作の好評に応えたものです。本書の序文は、「歴史学科に所属する12人の教員が自分の専門研究を生かし、あるいは日頃の授業の中から題材を選び、歴史学の面白さをできるだけ分かりやすく説き起こしました」と述べています。編者の1人である松塚俊三教授は、「記憶されることの少ない、1回限り的人生を送った人々の歴史を想像することの大切さを伝えたかった」と本書への思いを語りました。



福岡大学シンポジウム「快適なシルバーライフとコンチネンス」開催



昨年11月21日(土)、ヘルオスホールで文部科学省2009年度戦略的大学連携支援事業の一環として、シンポジウム「快適なシルバーライフとコンチネンス」が開催されました。コンチネンスとは、排泄がコントロールできている状態を表すもの。そのための適切な治療や、治療できない場合、おむつなどを使って快適に生活することを目指すコンチネンスケアについて考えました。シンポジウムは大和竹史副学長、寺嶋明美看護学科主任のあいさつの後、西村かおる日本コンチネンス協会会長による講演「高齢者に多い失禁とその予防」があり、第2部のパネルディスカッションでは「インコンチネンスにある高齢者の排泄ケアと生活支援」について意見交換が行われました。特に福岡大学病院の梶西ミチコ看護師長のスキンケアの視点での意見と、松藤康司工学部教授の排泄処理環境の視点での意見が印象的でした。

Fukuoka University students Step up Program 福大生ステップアッププログラム

図書館に置く本を学生が選ぶ「選書ツアー」を開催

昨年11月13日(金)、「福大生ステップアッププログラム」の一環として、本学の図書館に置く本を学生自身に選んでもらう「第1回選書ツアー」が丸善福岡ビル店で行われました。選書ツアーに先立って行われた事前説明会で、書店の仕事や出版業界の概要について学んだ応募者17人が参加。漫画本やゲーム攻略本は除外するなどの選書基準に従い、一人3万円の範囲内で、熱心に選書を行っていました。

選ばれた本は中央図書館に「学生のオススメ本」として、学生が書いた書評とともに展示されており、併せて貸出も行っています。また、図書館ホームページ「福大生のための図書館活用プログラム」の「ブックレビュー」でも紹介しています。



アジア圏協定校との学生交流セミナー「共同学習発表会」開催

昨年11月10日(火)～19日(木)、国際センター主催によりアジアの協定大学15校から研修生を招き、本学学生との交流セミナーが行われました。このセミナーの総仕上げとして19日(木)に816教室で「アジアの未来を担う若者の使命—今抱える諸問題の解決策—」をテーマに「共同学習発表会」が開催されました。

発表会では研修生と本学の学生の皆さんが4つのグループに分かれ、「文化の総合理解」「温暖化」「一つになるアジアのため～組織構築～」「アジアで考えるCO₂削減」という課題を研究して発表。時間の制約と言語の壁を乗り越えた鋭い考察と提案に、大きな拍手が送られました。



「共同学習発表会」に参加して
「共同学習発表会までハードなスケジュールでしたが、何とか発表することができました。アジアの仲間たちとのフェース・トゥ・フェースの交流は、掛け替えのない素晴らしい思い出です。」



課外活動の優秀な成績者を表彰

昨年9月17日(木)、学生部事務室棟2階会議室で、課外活動の優秀な成績者に対する表彰式を行い、次の4団体、個人7人にに対して、中原学生部長が表彰状と報奨金を授与しました。



学友会名	氏名(学部および年次)	大会・種目名および結果
弓道部		第21回全国大学弓道選手権大会男子優勝
サッカー部		第33回経理大臣杯全日本大学サッカートーナメント優勝
ソフトボール部		文部科学大臣杯第44回全日本大学男子ソフトボール選手権大会準優勝
なぎなた同好会		第48回全日本学生なぎなた選手権大会(団体の部)準優勝
重量挙げ部	田中 駿太郎さん (商学部4年次生)	第55回全日本学生ウエイトリフティング選手権大会(62kg級)優勝
	羽釜 駿次郎さん (スポーツ科学部2年次生)	J.C.W.S.F 2009チャンピオンシリーズ(Game1)男子スラローム優勝
モーターボート・水上スキー部	山下 幸恵さん (理学部4年次生)	J.C.W.S.F 2009チャンピオンシリーズ(Game1)女子スラローム優勝
	山口 友理恵さん (工学部3年次生)	J.C.W.S.F 2009チャンピオンシリーズ(Game1)女子トリック2位
	平井 佐季さん (人文学部4年次生)	J.C.W.S.F 2009チャンピオンシリーズ(Game2)女子ジャンプ2位
なぎなた同好会	佐々木 雅香さん (スポーツ科学部4年次生)	第48回全日本学生なぎなた選手権大会(演技競技)優勝
	新田 葵さん (スポーツ科学部2年次生)	

本学の甲斐さんがドラフトで阪神タイガースに指名される

昨年10月29日(木)に開催されたプロ野球の新人選択(ドラフト)会議において、本学野球部の甲斐雄平さん(スポーツ科学部4年次生)が阪神タイガースから第3位に指名されました。

本学野球部の主将を務め、平成20年度九州六大学野球秋季リーグ戦では見事優勝を果たし、MVPを受賞した甲斐さん。強肩と俊足を生かした守備に定評があり、特に強肩を生かした矢のようなバックホームは圧巻です。

なお、福岡大学附属大濠高等学校の川原弘之さん(3年生)も福岡ソフトバンクホークスから第2位に指名され、二重の喜びとなりました。両選手の今後のさらなる活躍を期待しています。



昨年11月5日(木)、阪神タイガースの球団関係者から指名あいさつを受け、握手を交わす甲斐さん。

第20回懸賞論文で優秀賞、佳作を選考

第20回懸賞論文(学生部主催)で「現代を考える」をテーマに募集を行ったところ、12編の応募があり、厳正なる選考の結果、次のとおり優秀賞と4編の佳作が決定しました。



優秀賞	山口 恵梨子さん(商学部4年次生) 「子どもの居場所づくり」
佳作	前田 早紀さん(人文学部2年次生) 「実録 活字離れの現状」
	高岡 千睿さん(医学部1年) 「車いすから見る日本の介護」

商学部第二部(夜間部)が「社会人コース」履修生を募集

商学部第二部商学科(夜間部)では、会社員、中間管理職、経営者、熟年層等を対象に、1年間の履修期間でビジネス・マネジメントを体系的に学べる「社会人コース」を開設しています。平成21年度から開講科目が大幅に増え、さらに受講しやすくなりました。

コース修了者には、学校教育法に基づく履修証明書(社会人コース修了証)を授与します。1年間で修了できない場合には、さらに1年間の延長も可能です(追加受講料は不要)。

平成22年度履修生募集については、商学部事務室にお問い合わせください。

学生の研究助成を目的とした「SPSS研究奨励賞2009」で受賞

第9回となる学生向け懸賞論文「SPSS研究奨励賞2009」(エス・ピー・エス・エス株式会社主催)で、本学商学部・太宰満講師が担当する3年次ゼミのグループ6人(岩本さん、高橋さん、萩原さん、古庄さん、宮崎さん、矢野さん)が執筆した研究論文「化粧品に対する興味・意識に対する調査」が、SPSS賞に選ばれました。受賞者の論文およびポスター発表は、昨年10月21日(水)・22日(木)の両日、東京ドームホテルで開催された「SPSS Directions Japan 2009」で展示されました。

その際、同ゼミの他のグループ6人(樋原さん、東さん、山本さん、中尾さん、中野さん、岡さん)が執筆した論文「ユニクロの服に対する人の価値観の違い～ユニクロの服で初デートはいいのか?～」が、ポスター発表部門でSPSS Directions参加者特別賞に選ばれ、二重の喜びとなりました。

受賞論文および受賞理由などの詳細は、次のウェブサイトをご覧ください。
<http://www.spss.co.jp/ronbun/archives/2009/index.html>



創立75周年を祝い、職員OB懇親会を開催

昨年11月11日(水)、文系センター棟16階スカイラウンジで、本学創立75周年を祝い、「福岡大学職員OB懇親会」を開催しました。退職された教育職員および事務職員約40人が参加。会場では、苦楽を共にしてきた思い出を懐かしく語り合う姿があちらこちらで見受けられました。

今回の開催を契機に、退職後の教育職員および事務職員で定期的に親睦会を催すことになり、今後、名称も含めて検討していくことになりました。



福大生って スゴイ!!

福岡市早良区の市民防災センターで開かれた「救急シミュレーション」(市消防局など主催)の事例紹介セミナー。福岡大学(同)がかり生がプロジェクトの報告を行った。

「最近の症例紹介」

パンフレットは

この10年

で福岡市の救急車の出動件数が1.5倍近く増えている

と話す。パンフレットに

記載の時間が増えている

と知り、何か私たちはできることばかりが増えていた

の感覚が増えていた

の感覚だったのが

「つなうめ

命を守る

の感覚だったのが

「つなう

地域の福大 サポーター

3 Free Style(フリースタイル) 福岡市城南区片江5-5-14 TEL:092-400-8831



代表の岡橋直之さん(前列中央)ほか、スタッフは6人。工場も併設しているため、低価格で仕上げることができます。Tシャツは875円(50枚以上・1カ所1色プリント)。



福大生のために制作したオリジナルウエア。「12月～3月は比較的ゆとりがあるので、早く仕上がりますよ」とのこと。

オリジナルウエアはチームワークの証しであり、大切な思い出の品。

サークル活動やイベントのためのオリジナルウエアが人気のお店。本学東門の目の前にお店をオープンして今年で5年目、すっかりおなじみになりました。現在では売り上げの2割近くが福大生とか。一番のお得意さまです」と代表の岡橋さんは笑います。簡単なスケッチを持参すれば、専属のデザイナーさんが相談

「一番のお得意さまです」と岡橋さんは笑います。

(580円)も人気です。



営業時間:午前9時～午後6時
定休日:土・日祝日



営業時間:午前11時30分～午後3時、
午後6時～9時
(土曜は午後11時30分～午後3時)
定休日:日祝日・市場休日・不漁日

福岡市城南区片江5-7-12 TEL:092-865-0087 飯処 てんや 1

その日の朝仕入れた鮮魚。
ふんだんに、そして低価格で。

昨年9月にオープンした、福大前バス停通りのニューフェイス。メニューは白井(タイなどの青身)、赤井(マグロなどの赤身)、そして人気ナンバーワンの胡麻ぶりなどです。毎朝、市場から仕入れる玄界灘の魚をたっぷりと。それで400円という低価格。男性客はほとんどが500円の大盛りを頼むそうです。口一ヵ口一のため、女性客が多いのも特長。福大生の印象は「ごちそうさま、と必ず言つてくれる。」はん粒も残さず食べてくれば、とてもマナーが良いですね」とのこと。気軽に声を掛けてほしいです、とも。お店は市場の休日と不漁日はお休み。こんなところにも味へのこだわりを感じます。



「すぐにお出しだけで、短い昼休み時間でも大丈夫」と貞方満代さん(右)。「お魚を食べてヘルシーな学生生活を」と山口秀子さん(左)。

4 花すし弁当 福岡市城南区片江5-10-5 TEL:092-864-5348



「これからも福大生と一緒に頑張ります」と花田理沙さん(右)と母親の良子さん(左)。



営業時間:
平日は午前9時30分～午後9時30分。
土・日祝日・大学休業・試験期間は
午前9時30分～午後8時30分。不定休。

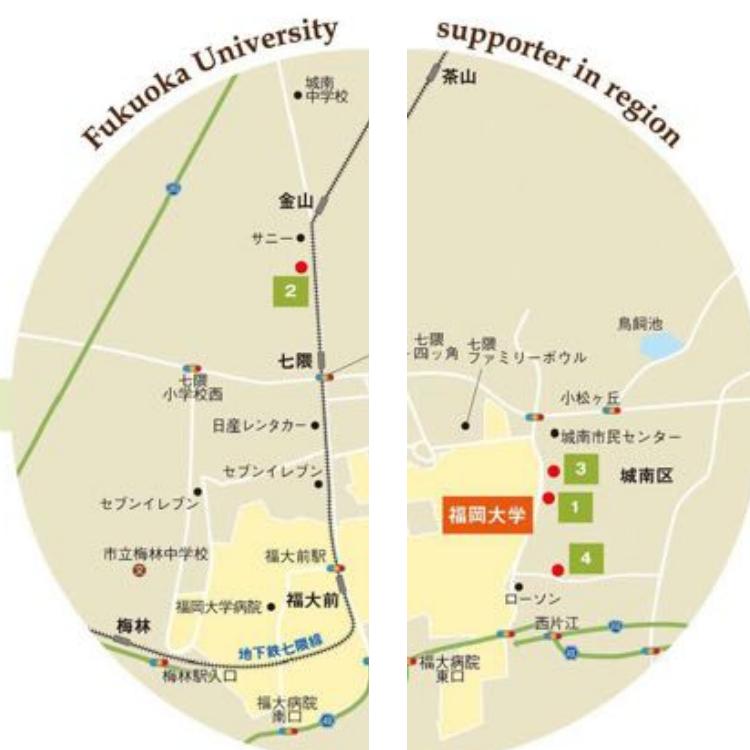
1コイン(500円)でお弁当とお茶を買えるように、というのがお店の方針。

ずっと前から福大生の食生活を支えているお弁当屋さん。ボリュームたっぷりでおいしい。そんなお得なお弁当皆さんも多いはず。現在の場所にオープンしたのは15年前ですが、40年以上前にこの近くでお弁当屋さんを営んでいました。3代目店長の花田理沙さんは「子どもの

ころはよく福大生の皆さんに遊んでもらっていました。今でも時々訪ねて来られるんです」と懐かしそうに話されます。定番のお弁当はチキンカツ弁当。その他のメニューもお値段は15年前とほとんど変わらないとか。1コイン(500円)でお弁当とお茶を、というのがお店の方針なのです。



チキンカツ弁当(380円)左、
なんばん弁当(430円)右。
これでも並盛です。



福岡市城南区七隈4-4-47 TEL:092-864-4884 MAPLE MAPLE(メープル メープル) 2



「福大生は、とても元気で明るいイメージ。卒業式には大量に注文をいただいている」と中村光秀さん。



小さなお店にしかできない、人間味のある、きめ細かなサービス。

「花を贈った自分がとても幸せいなったことが、店を始めたきっかけでした」。そんな素敵なお言葉の花束を差し出してくれたのは、オーナーの中村さん。働きながらフラワーアレンジメントを勉強し、7年前にこのフラワーショップを開店しました。店内には、色とりどりの生花はもちろん、

ブリザードフラワー、観葉植物、雑貨やオリジナルアクセサリーも。お客様の用途や贈る相手の好みをじっくり聞いて、花束を作ります。また、お店の中にいるとメープルシロップのように甘く爽やかな気分になりました。



営業時間:午前10時～午後7時
(日・祝日は午後5時まで)
定休日:第1・第3日曜日

みずみずしく色鮮やかな花が店内にいっぱい。ミニブーケは500円から。

2009年七隈祭

瞬

～またたき～



「2009年七隈祭」は昨年10月31日(土)～11月2日(月)に開催。
なお、商学部第二部の学園祭「雅祭」は11月1日(日)・2日(月)、
医学部の学園祭「医学祭」は10月31日(土)～11月2日(月)に開催された。

約200人の実行委員が1年間を費やし、
多くの学生の皆さんと数万人の来場者が
七隈キャンパスに集った3日間。
それは一人一人に掛け替えのないものを残した。
今を凝縮し、未来への架け橋になる「瞬」。
輝き続ける一瞬。瞬く間の永遠。